

特定非営利活動法人

VOL.62

南国暮らしの会

2015年 新年号



日本平からの秀峰富士

平成27年1月8日



NPO法人 南国暮らしの会

南国暮らしの会

(2015年 新年号)

目次

(敬称略)

新年のご挨拶	No. 434	大野 悦子	1
「南国暮らしの会」創立15周年を記念して			
創立15周年を迎えて	No. 732	馬場 章介	2
関係機関、友好団体挨拶			3
セブのロングステイ事情	No.1124	田上 篤	7
	No.1410	加藤 正也	
ダバオのロングステイ事情	No.1612	堀江 健夫	8
ダバオ生活3年目徒然なるままに	No.1125	佐々木 一信	10
クアラルンプール支部活動再開後の現状	No.1346	池田 諭	13
南国暮らしの会 チェンマイ支部 第7回ゴルフコンペ開催	No.1336	森田 公之	14
チェンマイで最近思うこと	No.1041	中西 岩夫	15
ハワイの楽しみ方	No.1106	中牟田 登	17
マレーシアで購入した我家の三種の神器	No.1546	渡邊 照夫	19
夏は北海道でゴルフだ!!	No. 816	有元 義晶	21
南国写真サロン			23
リゾート地 ―バトンビーチにて	No.1163	山口 淑枝	27
セントアンドリュースゴルフ紀行	No.1521	花房 徹	28
ペナンでのロングステイスタート	No.1630	菅野 純	32
タイ北部トレッキングツアー体験	No.1634	長田 隆秀	35
お役立ち情報			
クレジットカードの海外旅行傷害保険	No.1410	加藤 正也	38
韓国、仁川空港の乗継ガイド	No.1578	山本 雅巳	39
支部便り			
北海道支部便り	No.1285	桂 裕章	41
東北支部便り	No. 498	氏家 孝	41
関東甲信越支部便り	No.1118	肥後 憲尚	42
東海支部便り	No. 843	土井 研一	43
関西支部便り	No. 173	平山 三雄	44
九州支部便り	No. 581	朝永 清寿	45
マニラ支部便り	No. 999	中山 恒夫	46
バギオ・バンガシナン支部便り	No. 227	斎木 一	47
ダバオ支部便り	No.1261	藤本 晴久	47
チェンマイ支部便り	No. 239	伊藤 寛	48
クアラルンプール支部便り	No.1682	守田 章	48
ハワイ支部便り	No.1016	村林 修次	49
部会伝言板			
総務部会	No. 996	歌田 晃一	50
会報部会	No.1309	青木 一義	50
広報部会	No. 513	青木 方子	50
ネット部会	No.1578	山本 雅巳	51
会員部会	No.1108	山田 美弥子	51
支部推進部会	No.1244	金井 修二	52
友好団体紹介コーナー			52
南国暮らしの会 支部一覧			53
編集後記			53
平成27年度会費納入のご案内			54

新年のご挨拶

南国暮らしの会 理事長 No.434 大野 悦子

謹んで新春のお慶びを申し上げます

会員、そしてご家族の皆様には、お健やかに新春をお迎えることと存じます。この会報が皆様のお手元に届きます頃には、暖かい国々でロングステイを楽しまれている方が多いことと思います。

お陰様で「南国暮らしの会」は、昨年9月30日に、東京都のNPO法人の認証を受けましてから15年を迎える事が出来ました。それに先立ち、昨年6月14日の理事会で、15周年記念行事が検討され、その内容を実行するため、15周年記念委員が、国内外全ての支部に、15周年記念行事の開催促進を働きかけました。

それに応じて、北海道支部で、7月5日(土)に、広く外部の方達に向けて「南の会・説明会」が開催(昨年の会報、夏・秋号に記載)されました。そして、11月29日(土)に開催された「ロングステイフェア・2014」で「南の会」もブースを設けて参加致しました。このフェアでは、関東甲信越支部も15周年記念行事として参加して協力して下さいました。また、その翌日の11月30日(日)には、「関西支部・九州支部合同サロン会」が、山口県の「秋吉台国際芸術村」で、15周年記念行事の一環として開催されました。これから今年の9月までにその他の支部でも記念行事を開催する予定です。(詳細は、支部便りを参照して下さい。)

その他、昨年の夏、東京の代々木公園で蚊に刺された人達が「デング熱」に感染した事が、新聞やTVで報道されたり、西アフリカで「エボラ出血熱ウイルス」の感染者の発生、増加、その看護に係ったスペインやアメリカなどの医療従事者が感染し、アフリカ以外にもその影響が出ました。「南の会」の会員の皆様も海外へ出掛ける方が多いので、これらの事にも気を付けられ、ロングステイを楽しまれるようお願いしております。

今年も15周年記念行事が、国内外で開催されますので、それぞれの地区の会員の皆様には、積極的に参加して頂き、友達の輪を広げて頂いて充実した年になることを願いまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



「南国暮らしの会」 創立15周年を記念して

創立15周年を迎えて

相談役 No.732 馬場 章介

15周年を迎え先ずはお祝い申し上げます。2009年に10周年を迎え、それから5年を経過しましたがその5年間を振りかえってみたいと思います。

「会の歴史」につきましては5年前の10周年の際に当時相談役だった宮崎哲郎様が「創立10周年記念特集号」の中で「南国暮らしの会の創立から現在までの歴史」というタイトルで詳しく記されております。この特集号には会の10年間の歩みと会が積み重ねてきた海外でのロングステイのノウハウが結集された内容になっています。

まだお読みでない新しい会員の皆様には是非一度参照いただければと思います。(南の会のホームページから過去の会報を開くことが出来ます)

そこにはどんなきっかけで、どのような方々が、何の目的でこの会を発足されたか時系列的に詳しく書かれております。この会の諸先輩の方々の海外でのロングステイに対する熱い思いや情熱が感じられます。そしてこのような楽しい会を設立されたご苦勞に今更ながら感謝を申し上げます次第です。

ところで、10周年後の最近の5年間を振り返ってみますと、会は益々発展し会員同士の親睦もさらに深まり海外でのロングステイのノウハウも積み重ねられ楽しくて役に立つ会に進化してきているのではと感じております。

進化してきていると感じておりますその一つは、会の運営、世話役をしていただいている理事の方々や各支部長、役員の方々が新しい方々に入れ替わっていることです。

過去を振り返りますと、とかく、このようなメンバーの方々は固定化しつつありましたが、最近では5年前に比べますと新しいボランティア精神のある方々がたくさん世話役として活躍していただいていることはすばらしいことだと感じております。

このような新陳代謝が会の発展の原動力になっているのではないかと考えられます。

世話役はご苦勞もあるかと思いますが、会員の方全員が会の運営に対し新しいアイデアを提案していただき、「会は何をしてくれるのか」ではなく「会に何をしようか、会に何かお手伝いできることは無いか」と言う皆さんのボランティア精神が大事です。今後も会が発展し続けるためには皆さんのボランティア精神がとても大事な要素ではないと思います。又、世話役をされるとご苦勞だけではなく、沢山の会員の方々との出逢いがあり人間関係や幅広い情報の共有も出来、会の中での楽しみ方がさらに深まる利点もあります。

今後も一人一人の方がこの会を楽しむと同時に、自分出来ることを少しでもいいので「お手伝い精神」を発揮していただくことを期待しております。

さらに会員が、自分がロングステイしている場所で、例えばタイのチェンマイやフィリピンのダバオやバギオ、インドネシアのバリ、マレーシア等においても会員の沢山の方々が現地でボランティア活動を積極的に行っております。これもこの5年間以前にもまして盛んになっていることは会としても誇れる一面ではないかと思えます。

以上10周年後のこの5年間はこの会は益々成熟してきていると感じます。

最後に、南国暮らしの会は会員の皆さん方がこれからもボランティア精神と「楽しく仲良く」の精神を継続して積極的に発揮していただくことが、今後もさらにこの会が発展することに繋がるのではないかと確信しております。

関係機関、友好団体挨拶

(1) フィリピン観光省

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

旧年中は格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございました。

本年はNPO法人 南国暮らしの会様のNPO法人認証15周年とのこと重ねてお慶び申し上げます。

ここ数年フィリピンは政治の安定とともに、経済成長も著しく、日本人渡航者も順調に推移しており、潮目の変化を感じ取られます。

特にロングステイ、リタイアメント、英語留学など、通常の観光目的だけではなく、現地での体験や学ぶことに注目されています。

フィリピンは本年“観光年”を迎え、一年を通してフェスティバルやイベントを全国各地で催す予定ですので、是非この機会にお越しいただければ幸いです。

フィリピンの7,107の島々では、島の数だけ様々な魅力を持っています。

白いビーチとターコイズブルーの海が広がる極上のリゾート、ヒロットに代表されるスパでの癒し体験、トロピカルフルーツ、東洋と西洋の文化の面影が現れる街並みなど、フィリピンには色とりどりの魅力と発見があります。

本年も変わらぬお引き立ての程よろしくお願い申し上げます。皆様のご健勝とご発展をお祈り申し上げます。

マブハイ！

フィリピン観光省 東日本代表 バレンチノ L. カバンサグ



フィリピン観光省
東日本代表
バレンチノ L. カバンサグ

(2) タイ国政府観光庁

会員の皆様へ

サワディーカー

はじめに、南国暮らしの会設立15周年おめでとうございませう。15周年の節目に立ち会えることができ、大変うれしく思えます。当庁もロングステイプロモーションをはじめ、同じ15年目を迎えることとなります。当初は、「年金でいかに暮らすか」から「現在ではセカンドラ

イフをいかに楽しく海外で送るか」というテーマになりました。

当庁と御会とは、セミナーに招聘いただいたり、当庁のセミナーに参加していただいたり、相互の交流をしております。2014年の活動の中で、当庁が主催したチェンマイ・ロングステイ・フォーラムでは、東京や札幌のセミナーをはじめご協力いただきました。最近ではタイ王国大使館にて、大使館ビザ課を含めたセミナーにもご参加いただくとともに、情報共有をしていただきました。また、来るロングステイフェアにも出展されると聞いております。この15周年を機に相互の交流をさらに一歩進めていければと思っております。

タイ国政府観光庁では、2015年“Discover Thainess”というキャンペーンを行います。より多くの渡航者にタイの生活様式や習慣、文化を知っていただけるようにプロモーションを行ってまいります。また、アクセスにおいて、2014年9月からタイエアアジアXが成田および関西とバンコク・ドンムアン空港に就航しましたし、来年3月から毎日2便運行するという情報もあります。また、ノックスタートも来年就航する予定となっております。今後もタイと日本の関係がますます近くなっていくと思っております。

最後になりますが、15年の節目を迎え、御会がさらなる飛躍をされることを願っておりますし、当庁との関係もより進化していくことを願っております。引き続きよろしく願いいたします。

コックンカー

タイ国政府観光庁 東京事務所所長

ニッタヤー・ウワムビッタヤー

(3) マレーシア政府観光局

「南国暮らしの会」NPO法人化15周年おめでとうございます。

会員の皆様には、既にマレーシアにお越しいただいているかと思いますが、ロングステイ財団調査で、2006年から海外ロングステイ人気8年連続第1位のマレーシアで、皆様のセカンドライフを心豊かにする海外長期滞在を、引き続きご満喫いただければ幸いです。

15周年のアニバーサリーを迎えるに当たり、皆様方には是非お願いしたいことがあります。それは、ご自身の海外ロングステイ体験を若い世代に語り、海外へ行くことの素晴らしさを伝えていただきたいということです。

今の日本の20歳前後の若者達は、日本のバブル経済崩壊後に生まれ、右肩下がりの所謂「失われた20年」の時代に育ってまいりました。

小奇麗でお洒落ながらも、決して贅沢すること無く身の丈に合った生活をしています。一方、全体的に内向き傾向で、自分自身や日本の将来に一抹の不安を持つ、心優しき若者達が増えていくことを日々痛感します。

日本の次代を担う若者達が、このように内向きで、ややネガティブな思考のままでは、今後の日本がとても心配です。団塊前後の皆様が、新たな日本づくりの主役となる若者達を鼓舞し、海外で活躍する夢やワクワク感そしてチャンスを与えること、それはとても重要なことだと思います。

最後に「南国暮らしの会」の益々の発展と、会員の皆様お一人お一人のご活躍を心より祈念いたします。

マレーシア政府観光局 東京支局長 ノール アズラン



マレーシア政府観光局
東京支局長
ノール アズランさん

(4) リタイアメント情報センター

「南国暮らしの会」NPO法人化15周年をお迎えになりましたこと、衷心よりお慶び申し上げます。

その昔、旧通商産業省は「シルバーコロンビア計画」を打ち出したものの頓挫しましたが、貴会は、それを見事に乗り越えられ、日本国に於ける、「海外暮らし」紹介のパイオニアとして、手作りの「南国暮らし」を開拓されました。そしてこの15年にわたり、折々の社会情勢に合わせて、更にそのノウハウを融通無碍に改善することに成功されました。かかる成果物は、私どもを始め「海外暮らし」を夢見る者に、安心と勇気を与えるものです。これぞ偏に、貴会員の皆様お一人おひとりの弛まぬご努力の賜物であり、改めて皆様に感謝と尊敬の念を抱くものです。

その証左として、朝日新聞が2014年9月7日東京版の紙面の4分の1を使って紹介した「介護、フィリピンで」という記事の中に「シニア世代の移住を促すNPO法人・南国暮らしの会によると…」と貴会のご紹介がありましたが、今や、日本国内でのこの種のニュース・ソースは、貴会に負うところが大きいことは周知の事実です。

私どもNPO法人リタイアメント情報センターは、その名の通り第二の人生を送る方々に役立つ情報を提供し続けて8年目を迎えます。当初は、海外ロングステイや自費出版関連での、お年寄りを狙った詐欺事件の「駆け込み寺」としてのボランティア活動が多く、NHKのクローズアップ現代や毎日新聞等のマスコミに取り上げられました。その頃からの弊センター文化が未だに根付いており、「周りの人を喜ばせることを自分の元気に変えている」人達が多いモウコリタ集団です。(「モウコリタ」は「ジコチュー」の反対用語で、漢字では、「忘己利他」。コラムニストの立股波音さんによると「目の前のコトを心から大切にし、目の前の人を喜ばす精神。自己中心から忘己利他以で幸せは来る。」とのこと。)

また会員個々の心豊かな第二の人生の行動指針として、以下の3項目からなる「りらいぶ憲章」なる造語を発表しました。

- ①組織、肩書き、経歴にとらわれない自由な生き方
- ②知識、経験、技術を生かして社会に貢献する生き方
- ③初心に帰って新しい自分を発見する生き方

一昨年、貴会の九州支部長朝永様ご夫妻に当該憲章を目にして頂いたのが縁で、貴会九州支部集会で当該憲章をご紹介すべく、弊センターの鈴木副理事長がお招きを頂いたのは、誠に光栄なことでした。

また諸活動の一環として、「りらいぶサークル連絡協議会」を間歇的に開催し、先達たる貴会の諸氏からは常々貴重な情報を頂戴しており、この場をお借りして厚くお礼を申し上げる次第です。

弊センターでは、会員・賛助会員を対象として、季毎に「りらいぶジャーナル」を発行し、PDFとしてE mailに添付発送を行っています。貴会15周年を記念し、貴会の会員様宛に当該

PDFをお送りさせていただきますので、ご希望の方は、弊センター理事兼事務局長・豊口一美宛にその旨Emailをお送り下さい。

(Email Address : toyoguchi.k@gmail.com)

NPO法人 リタイアメント情報センター 理事長 竹川 忠徳

(5) イカロス出版株式会社

NPO法人認証15周年に寄せて

「南国暮らしの会」に初めて、また、恐る恐るコンタクトさせていただいたのは、2005年(平成17年)のことだった。その際、古参メンバーの宮崎哲郎氏に初めてお目にかかる機会を得た。団塊世代の本格的な定年退職がスタートすることに関連した「2007年問題」というものが、マスコミなどでしきりに喧伝されるようになった頃である。当時、弊社で発行していた海外旅行の専門誌「ラシン」において、ロングステイを本格的に取り上げようということになり、つてをたどってご紹介いただいたのがきっかけだった。

当時の氏は、副理事長という要職に在りながら、独特の飄々とした語り口で当方の緊張を瞬く間に解きほぐし、同時に、ロングステイについて全く無知だった私に、夢に満ちた第二の人生の楽しみ方を、身をもって惜しみなく提示してくれたものだった。宮崎氏の知己を得て以来、今日までの10年間、氏はもちろん酒匂氏、高田氏、馬場氏、大野氏など、いずれもユニークなお人柄の「南の会」の方々のご協力のもと、セブやチェンマイ、ペナン、ハワイなどを取材で周ったことはかけがえのない思い出となっている。また各地で、人生の大先輩である「南の会」の方々に教えられたことは実に多い。なかでも「見習わなければ」と痛感したのが、会員のみなさまが「南の会」として(あるいは個人として無意識のうちに?)世界各地で励んでおられる「草の芽レベル」での国際交流だった。

今、日本は大きな岐路に立っているものと思う。世界規模でのグローバル化が進む中、少子高齢化、人口減少期に入った日本は、好むと好まざるとに関わらず、さらなる国際化へと舵を切ることが求められるだろう。最近では大学におけるグローバル人材育成の必要性が説かれるが、若者が海外に出ていくだけでなく、海外からの人を受け入れるのも非常に大切なことと思う。ところが自分も含めて島国育ちの我々にとって、外国人との交流とは、「言うは易し…」というのも正直なところ——。その意味で、現地の社会に巧みに溶け込んでおられ、国際交流の達人であることを自他ともに認める「南の会」のみなさまの経験談や個人的なノウハウを、もっと広く、大げさにいえば日本の社会全体で共有する仕組みは考えられないだろうかと夢想している。

「南国暮らしの会」の「南国」とは、あくまでシンボルであり、特定の国や地域を指すものではないという。ロングステイというライフスタイルを知ってから、将来のロングステイ先、自分にとっての「南国」を、無意識のうちに探し求めるようになって久しい。「南国暮らしの会」のますますのご発展をお祈りするとともに、自分も正式に会員になれる日を心待ちにしている。また、この10年間の間に取材でお目にかかった会員のみなさまに、改めてお礼を申し上げたい。

「その節はどうもありがとうございました！！」

イカロス出版株式会社 ラシン編集部 戸部 勲

セブのロングステイ事情

セブ支部 No.1124 田上 篤 ・ 東海支部 No.1410 加藤正也

セブ支部の田上です。

この原稿は、私と1410番の加藤さんの共同執筆です。

私事で恐縮ですが、私は、昨年現地セブで結婚し、息子が今年生まれました。現在63歳で、妻は30歳年齢差33歳のカップルということになります。

まずは、近況 セブ市内のセブで一番大きなモールアヤラまで、徒歩7分の築10年を越すトリニティプラザというコンドミニウムに住んでいます。このコンドには、私の他に後3名の南の会のメンバーが住んでおり、私の住む階でも後2名同じ位の年齢の日本人が住んでいます。セブに来ている者は、男性の独身者が多いように思う。

我が家は、2LDK65平方メートルで、妻と妻の連れ子7歳男と赤ちゃんそれに妻の妹18歳の4人家族であり、他に通いのメイドとベビーシッターが2人食卓で、飯を食っている。妻と義妹は大学に通っており、連れ子は私立の小学校に通っている。年金暮らしを最近の円安が追い討ちをかけている。(楽ではない、しかし孫をもうけるこの歳で子育てするのは、楽しいと思うことにしている。)

①日本～セブ間の交通

直行便は、成田からフィリピン航空が毎日2便、関空、名古屋から1便経由便は、大韓航空仁川経由で札幌、函館、青森、秋田、新潟、小松、静岡、名古屋、岡山、福岡、大分、鹿児島島の12都市から、キャセイパシフィックは香港経由で、成田、名古屋、関西から、後LCCでマニラ経由でセブパシフィックが成田、名古屋、関空から、ジェットスターが関空から飛んでいます。エコノミーで5-7万円 ビジネスで10-14万円

②セブの交通機関情報

セブの一般的な乗り物は、ジプニーという乗り合い小型バスで、いつでもどこでも指を1本立てれば乗れる便利な乗り物で、1人8ペソ(20円)で、またどこでも自分の好きなところで下ろしてくれる。行き先は車体に表示されている外、英字と番号で表示されている。そうは言っても経路が分からないと困るわけだが、スマートフォンのアプリでポケジーセブという便利なものを作成された御仁がおり、英語と日本語でジプニーのルートがわかるようになってきているらしい。もっともある会員によるとところどころ間違っているらしいが? しかながら、この乗り合いバスは、強盗なんかも出ることからお薦め出来ない。会員で利用しているのはタクシーで初乗り40ペソ(100円)からで、市内の主な場所は、100ペソ(250円)で行ける。

③セブの年間気候

常夏の島です。最低気温が26度ぐらい最高気温が32度一日での寒暖の差が少なく、1月2月は、多少暑さが和らぎ、4月下旬から6月末まではとても暑くスコールがあります。

数年前に25年ぶりの最高気温がでましたが35度です。10月中旬から半年北東の風が吹き始め、6月ぐらいから南西の風が吹きます。

④食べ物情報(レストラン、おすすめのフルーツ、B級グルメなど)

セブ市には日本レストランが10店舗程有りそれなりの味、ビールは150円ぐらいビール1本と食事をして1,000円から1,500円、焼き肉は高い、中流のフィリピンレストランはその半額以下マクドナルド、ケンタッキーの様なものは沢山あります。しかし、フィリピン人の

一番好きなレストランは、ジョリビーです。

フルーツは、なんと言ってもマンゴー、ドライマンゴーは、お土産の定番で(それ以外は無)、あと、熱帯の果物は何でもある。

⑤ゴルフ場事情(コース数、お値段など)

セブカントリークラブ、アルタビスタカントリークラブ、マクタンアイランドアルタビスタゴルフコース(セブ市内から車で30分)タクシーで200ペソ(500円)程の距離ビジターメンバー同伴の時月2回まで1,560ペソ(3,900円)チップ200ペソ(500円)3回目からは3,800ペソ(9,500円)チップ200ペソ(500円)。

1ヶ月短期会員入会金12,800ペソ(32,000円)、プレー費600ペソ(1,500円)キャディのチップ200ペソ(500円)。2ヶ月短期会員、入会金12,800ペソ(32,000円)+月会費2,800ペソ(7,000

円)プレー費600ペソ(1,500円)キャディのチップ200ペソ(500円)。ただし、これらの費用とシステムは変動します。

⑥セブの医療事情

チョンワ病院とセブドクターズホスピタルという中級の総合病院があり、日本語が通じる日本人の為のジャパニーズヘルプデスクという医療事務所が近くにあり、我々のサポートをしています。有効なクレジットカードがあれば、キャッシュレスで通訳付きで受診できます。

⑦住宅状況(1~3か月程度の賃貸状況など)

1ヶ月から3ヶ月の短期は、ホテル住まいになるとお思います。3万ペソ(7.5万円)ぐらいです。以上です。

ダバオのロングステイ事情

関東甲信越支部 No.1612 堀江 健夫

昨年4月に南国暮らしの会に入会してから1年半ほどが経ちました。

今年からダバオに長期滞在を決め、この地にやってきました。

まず、第一にダバオを選んだ理由は、英語が通じることです。ここではカレッジを卒業したほとんどの人が流暢な英語を話します。英語を通じてフィリピン人が何を考え、何を

喜びとしているか多少なりとも理解できるような気がします。

又日本フィリピンボランティア協会に入会しますとMKD、ミンダナオ国際大学の学生と交流を持つことができます。これも楽しみのひとつです。

又、物価の安いことも魅力です。お米は1kg=40~50ペソ位(1ペソは2.5円)程度、日



米の値段

本と比べると4分の1位になります。交通手段としてタクシーの初乗りが40ペソ、100ペソもあればダバオ市内を一巡りすることができます。その他に乗合自動車としてジプニーがあります。必要な場所で手を上げ、目的の場所についたら合図をして8ペソ払います。又トライスクルといってオートバイに台車を取り付けて走っている乗り物もあります。



ジプニー

住宅事情に関しましては、芳しい状況ではありません。日本人向けに1軒屋を借り切って部屋貸しをしているシェアーハウスがあります。部屋は1ルーム、朝食付き、バスルーム、トイレ、エアコン付で値段は月額15,000～25,000ペソ程度です。この他、家具付きのアパートが15,000ペソより、或いは家具無アパートですと6,000ペソ位からあるようです。いずれにしても住宅に関してはあまり満足できません。



最近、新しくできたショッピングセンターを含め市内には5～6店舗ございます。どこも品物は豊富です。食料品に関しては、肉、魚など日本の2分の1、又は3分の1程度で購入でき、さらに南国特有のフルーツ、間ンゴー、パパイヤ、ドリアン、パイナップル、バナナなど安くて美味しい果物がたくさんあります。そして大きなスーパーマーケットに行けば割高ではありますがほとんどの日本食材を買うことができます。

レストランに関して申し上げますとお金を出しさえすれば日本食、中華、韓国料理、イタリアンなど美味しく食べられます。そして大きなビュフェレストランも人気の一つです。ただ日本食堂に関しましてはまだまだ向上してほしいと言う希望はございます。

ところで、当地での日本人観は、中国人や韓国人よりは数段好意的に思われています。退職後、ここダバオで生活されているシニア世代がほとんどですが評判は非常にいいと思います。

さて、関心の高いゴルフ事情ですが、退職後安い料金でゴルフ三昧とお考えの方にはあまりお勧めできません。ゴルフコースは、市内に「シテーゴルフ場」、「アポゴルフ場」、「パロスゴルフ場」と3か所ございます。シチーは9ホール、市内からそれぞれ30～40分のところにあり便利ではありますが、お値段は1,500～2,000ペソと日本の平日料金とあまり違いは無いようです。

現在、当地ダバオ11月は、雨期に当たります。日中日差しが強く晴れていても夕方から夜にかけて必ず雨が降ります。12～2月にかけてはもっと涼しくなり、日本人にとっては一番過ごしやすい季節のようです。3月～6月にかけては暑さがまし、また水不足から今年は毎晩停電があったようです。ダバオに来られる場合は季節を考慮することをお勧めします。

最後に、日本からダバオに来られる場合は、

フィリピン航空かセブパシフィック航空のいずれかを利用されるケースが多いかと思えます。いずれもマニラ経由で荷物はスルーで受取はダバオ空港になります。入国審査は、マニラになりますが、ただ、ダバオ到着が6 pm以降のフライトになりますとダバオの税関が閉じてしまい、マニラで入国審査と税関申告を済ませることになります。



ダバオ生活3年目徒然なるままに

関東甲信越支部 No.1125 佐々木 一信

「無趣味な私」

LSの先輩から趣味を持たないとLSは無理だよとよく言われました。

ゴルフは楽しいですが、週に3日も4日もやる気はしません。ダイビングも5年前にダバオに会員の仲間と来たときにライセンスを



ダバオ郊外 サマール島

取得しました。

ゴルフは週1回、ダイビングは月1回を心掛けていましたが、最近どちらもご無沙汰です。早朝散歩は快適で続いています。

予定が無い時は本を読み、ソファで昼寝の生活でも苦痛ではありません。

年中夏のダバオですが、いつも網戸から心地いい風が吹き抜けます。

クーラーより扇風機の方が快適です。

「国民の7割が貧困」 (P1=約¥2.5-)

良く聞く話では、モールの販売員はP6500-位、スーパーバイザー(係長)はP12000-位とか……メイドは住込み3食付でP2000-これは月給です。

今年、大学の日本語学科を卒業しマニラの日系企業に就職した娘は日本語能力検定N2 P2500-+手当、N3 P12500-+手当が初任給でした。

1日2食の人も結構います。お腹が空くので昼休みは寝ているそうです。

然し、所得は確実に上がっているようで、高級レストランは毎夜賑っています。

方や、月1回教会の帰りに家族でジョリビー(ハンバーガー店)に行くのが夢と言う人も多いです。

クリスマスから年始まで街には山から下りてきた物乞いが増えます。トラックを政治家が選挙の票集めの為に用意するそうで、1か月位野宿して物乞いをしています。

「JPVAとの出会い」

6年前、現在チェンマイベースの中西さん、永島さん夫妻とフィリピンLS下見ツアーでマニラ、パンガシナン、バギオ、ダバオ、セブを各支部長、在住の会員の方の協力で楽しく下見を行えました。ダバオ滞在中、ゴルフを予定していた日が雨で中止になり、在住会員の案内でミンダナオ国際大学、日系人会、JPVAを見学しJPVAの活動などをお聞きしました。学生とすれ違うとこんにちとは挨拶をします。びっくりしましたが、温かいものを感じました。休憩で近くのマクドナルドに入ると学生が日本語の教科書を広げて友達と日本語会話で勉強していました。隣の席でしたので、私は日本語なら得意？なので教え



て上げました。やはり付近のマーケットの前の椅子では小学生がお母さんと日本語の勉強です。いっぺんでダバオが好きになりました。

JPVAはグループに日系人会インターナショナルスクール(PNJK-IS)(幼稚園、小学校、ハイスクール)そしてミンダナオ国際大学(MKD)を有しています。日系人会クリニックもあり幼稚園から大学、クリニックまで持っている日系人会は他にはないそうです。

JPVAはいろいろな活動を行っています。介護、山間僻地での農業指導と販路の開拓、学校保健室活動、MKD里親募集、里子支援、植林、など。詳しくはHPを覗いて下さい。

「学校保健室活動」

日本の中学、高校10校がダバオの山の学校へ医薬品の支援を行っています。

一校対一校で担当し年1回支援校へビデオレターを送っています。

付近には薬局や医院も無いため、学校で使用するだけでなく付近住民も腹が痛い、頭が痛い……学校へ薬を貰いにきます。年3回訪問しますが、行った時には薬は殆ど無くなっています。

これをJPVAがお手伝いし、MKD学生による保健衛生教室や同行した日本人が日本の歌や日本語教室、ゲームなどで遊びます。

2年位前までは、素足、素っ裸で学校へ来る子がいましたが、最近はずすがんそのような子はなくなったようです。校舎もアメリカ、ドイツなどの支援で新、増築され確実に改善されてきているようです。

しかし、山の子供は都会の子供に比べて小柄です。栄養が充分でないそうで、炊き出しも我々日本人により行っています。

南の会会員が来ダの際古着等を持参頂いた物をガレージセールで現金に換え炊き出し費用に充てたりしています。

始めて行った人はショックを受け、次回訪

問時にノート、鉛筆を持参した方もいました。
子どもとのふれあいも楽しいものです。



「日本祭り」

JPVA、PPNJK、MKD共催 在ダバオ領事事務所後援により毎年10月に開催されます。小学生から大学生まで学年毎に課題曲を歌う日本の歌コンテスト、MKDの学生による神輿担ぎ、よさこいソーラン踊り、日本語スピーチコンテストなど見事なお祭りです。我々日本人のジジババは日本文化紹介授業をお手伝いしました。

関東甲信越支部の中富夫人は生け花教室と着付け、加藤義二さんは将棋教室瀧川清人さんは相撲の行事とカリナンキャンパスで行われたリコーダーコンテストの審査員、私は料理教室でコロッケの作り方を披露しました。去年はキンピラとホウレンソウの胡麻和えをやりました。他の講師は元ホテルのフ連料理の料理長、元レストランのオーナーとプロです。やった事はなくネットでレシピを検索して作る素人は私だけでしたが、美味しいと大好評！今年も成功です。

その他、空手、日本の遊び、等々。最終日は恒例の盆踊りです。東京音頭、炭坑節、河内音頭を浴衣やハッピーを着て踊ります。櫓の上ではネジリハチマキで太鼓を叩いています。会場では屋台が出ます。大学のサークル

が資金集めも兼て、焼売、フランクフルトソーセージ、大阪名物イカ焼き、さて我々はマンゴジュースのかき氷をP10-で販売、今までで一番利益がでました。利益は全てJPVAに寄付をしました。一昨年はタイ焼きをP20-、昨年は焼きそばをP20-で販売しましたが、ソースはおたふくのお好みソースを使い今まで殆ど利益が出なかったのですが、今年は少ない経費で最大の効果が得られました。

最後は、皆でふる里を合唱してお開きとなりました。

「その他」

私は系列のトリルにある八木小学校で日本語の授業を担当しています。幼稚園では日本の歌や君が代を習い小学校から日本語が必修です。素人の私が手探りで教えて、気が付くとあいうえおが書けて、本が読めるのを見ると、感動します。日本ではまずこんな経験は味わえないと思います。

ゴルフが特別趣味だ無くても、農業指導や大学生に日本語を教えるなど、ダバオには私たちがやれる範囲でのお手伝いは沢山あります。

年中温暖、人々は穏やか、安全なダバオへ一度LSの下見にお越し下さい。



クアラルンプール支部活動再開後の現状

クアラルンプール支部 No.1346 池田 論

8月11日 設立総会開催

11名の参加で設立総会を開催し、役員選出や活動方針決定などを行い総会後のサロン会では親睦を深めることができました。

当面の活動計画として以下のことが決まりました。

- ①定期総会 2015年8月に開催予定
- ②サロン会 2015年8月(総会と同時開催)
- ③訪問会員対応(都合のつく人達で食事会を開催する)
- ④クアラルンプール在住の会員の把握と名簿作成と連絡体制



日本からの訪問会員対応

6月16日、7月6日、9月8日、9月18日の4回、日本からの訪問会員をお迎えし、夕食会を実施することができました。少人数での対応のため納得いただけたか疑問ですが、支部活動の第一歩を踏みだしています。

お願い…来馬の際には下記の要綱に沿ってご連絡ください。

- ①訪問日程 KL空港への到着便名
- ②宿泊先
- ③訪問目的(ロングステイ下見or観光ロングステイ下見ならコンドミニウム見学、病院

見学、ショッピングセンター見学、日本食材を扱っている店見学など具体的に希望を出してください)

- ④会員との会食と情報交換の希望の有無
- ⑤現地での連絡方法
- ⑥その他

サロン会

設立総会時には年1回の総会開催時に開催し、後は訪問会員対応でいいのではないかという意向でしたが、会報が年3回支部長宅に送られてくるので会報を会員に手渡すためにも年3回サロン会をしようという声があがり、サロン会も回数が増え活発化の方向に向かってきています。

ペナン・KL支部合同メーリングリストの作成

ペナン支部には既にメーリングリストがあったが、KL支部の会員も加えて合同のメーリングリストを作成すれば、マレーシア全体の情報を共有することができるのではないかと考えてペナン支部に相談したところ快諾を得たので、合同メーリングリスト作成が実現しました。今後マレーシアの情報交換に活用していきたいと思っています。



日本人会への申し入れ

クアラルンプールの日本人会は現在会員数現在2,100名で世界でも有数の充実した日本人会です。同好会やクラブも約70あり、活発

に活動しています。会館内には旅行会社やレストラン、売店や図書館もあります。そこで図書館に会報を寄贈し、「南の会」の情報発信の一環としたいと思っていますところです。

南国暮らしの会 チェンマイ支部 第7回ゴルフコンペ開催

関東甲信越支部 No.1336 森田 公之

チェンマイでは珍しく前日からの雨が止まず、スタートから雨模様、コースも所々水が浮いている状態でも全員元気にラウンド。参加者26名、8月中旬の開催になったため開催日に帰国者が多く参加者が少なくなりました。

来季は7月の開催を目指します。中西さん、平山さんよりゴルフボールの提供、又、金井さんの奥さんから手作りのブローチが女性参加者にプレゼントと景品も盛りだくさんでした。

第7回ゴルフコンペの結果

順位	氏名	アウト	イン	グロス	ハンデ	ネット
優勝	平山 三雄	44	46	90	19.2	70.7
2位	森田 公夫	44	46	90	16.8	73.2
3位	永島 和雄	52	46	98	22.8	75.2

女子優勝 鈴木 ポン

バスグロ 橋本さん グロス 89



チェンマイで最近思うこと

チェンマイ支部 No.1041 中西 岩夫

最近多くの方がロングステイをしてみたいと南国暮らしの会に入会されたと聞きました。ロングステイと言うと真っ先に、チェンマイですかね？ チェンマイについていろいろ知りたい。情報が少なくは、ロングステイのことを考えても不安が募るだけ、かもしれません。

以前は、年金でとか、10万円とか、退職後を海外で生活してみたいなんて会ができた、雑誌や本が出たり、テレビで光と影などと放映したりと、未だにその夢が残っているのかもしれない。事実、チェンマイには多くのロングステイヤー、多くの国籍の方が滞在していますし、日本人の滞在にも言語、食、住を考えても、長期滞在に向いている地域と言えると思います。人種的にも、同化しやすい面が多いと思います。

ゴルフ場も時期的に、韓国人が多い時期もありますが、基本的にはタイ人と日本人が主流ですから、個人で来ても、同伴者に事欠くことはありませんし友人も出来ます。他の趣味をお持ちの方も、趣味を生かし、楽しめる地域ではないかと思っています。

良くある質問で、食事は？ 衛生面は？ 水は？ 医療は？ 治安は？ 住まいは？ と矢継ぎ早に聞かれます。では良かったらチェンマイに来るのか？ と問われたらどう答えますか？

今の状況から考えると、日本にいたほうが良いのではと答えざるをえません。安易に日本の住まいを処分して、こちらで死ぬ覚悟ですという日本人がいますが、あまり良い結果にならない比率が高いようですし、周りにも迷惑を掛けています。

治安に関しては今までと大きな変化はないか、もしくはやや良くなったと言われている



す。病院が充実して医療も心配ないなどと、判断される方もいますが、個人的には、万が一の時、保険やお金があれば、ある程度満足がいく対応ができる程度と考えています。食事は当然、日本の方が勝りますし、衛生面は比較するほうがおかしいレベルです。野菜も安全野菜とか無農薬のものも手に入っていますが、外食をすれば、限られた店しか、条件は満たすことはできません。当然安く生活できるという目的からは外れます。

今、チェンマイは、物価が全般に上昇傾向で、タイ人の一般の生活のレベルもどんどんあがって、贅沢になってきています。当然、以前は安易と言われたタイ人の商売の方法も、しっかりとした運営と利益を考えられて

いるなど感じさせる店舗や施設が増えてきています。分かりやすい例ですと、空港タクシーも120バーツが、160バーツへ。小さな食堂も10バーツ以上値上げしました。一昨年あたり完成したり、立地の良いコンドミニアムは、20,000バーツ(66,000円)ぐらいします。

それでも物価が抑えられている大きな要因は、人種による賃金の格差が根底にあると思っています。例をあげると、ゴルフ場の清掃の仕事は、1時間：30バーツ(100円)ぐらいですし、車の手洗いの洗車(中・外)で120バーツ(400円)ぐらい、ワンドリンクサービス付きです。ビルの建設現場も最低賃金の半分ぐらいと聞いています。この安い人件費がいつまで続くかは判りませんが、今後の更なる価格上昇の大きな要因となるでしょう。



最新の大型ショッピングセンターは乱立して、人気のあるところの価格は、日本並みか高いものさえあるにもかかわらず、多くのタイ人が自家用車で乗り付け、ショッピング、食事をしている光景が見かけられます。

タイの軍事政権も、表面上は大きな変化は出ていませんが、仕組みが徐々に変化しているように感じています。イミグレーションの

厳格化、仕組みの変化は、タイ人の業者も戸惑うようで、連絡なしで急に必要書類が増えたりして、依頼した日本人からクレームが出たなどと聞きます。

ロングステイビザの申請で、夫婦で80万バーツの預金についても、常に最新の情報に注意を払っておいたほうが良いでしょう。また、ロングステイビザの更新を逃してしまい、再申請が非常に厳しくなったとの情報も入っています。

日本にいるときは、遊ぶだけと言っていた方も、その国にお世話になっているのだから、何かボランティアでもしようか、生活に張りができると言って、無償の補助教員をやってみようなどという例もありますが、今まで聖域と言われていた学校も例外ではなくなってきたようで、どうしてもこのような生きがい欲しいという方は、ボランティア団体に入ってからとか、ボランティアビザをとったほうが安全と言われ始めています。

あえてこのようなマイナス要因を書いたのは、その国の事情をわかった上で、気に入るかどうかが重要に思えるからです。いくら、多くの情報と日本の生活を比較して、こちらが良い、あちらが悪いと言ってみても、考えてみても、体験に勝るものはありません。

何にも予備知識が無くて、チェンマイに降り立ったなんて人はざらにいます。短期の旅行でも何でも来て見て、体験してみてください。

最後に繰り返しになりますが、サロン会でも、チェンマイ訪問スレッドでも、初めての方はあまりいらっしゃらないように感じています。ロングステイのメリットや、費用対効果を考えて決める時代から、自分がその土地が好きで、性に合っているから何とかいろいろ問題やデメリットをメリットと感じて、そこに住んでいたい。そんな判断が重要になってきたように思います。

私にとってのチェンマイで生活する楽しさは、不便なこともありながら、時にはゴルフ、時には食事、時には旅行、時にはイベント参加と、個人的には、日本にいたら、マンネリ化する私の退職後の生活を、いろいろな人生を歩んでこられた経験豊富な方々が盛りたててくれることです。そして何より、チェンマイで、日々、普通に生活するための多くの努力や、キャディーが生活のためとは言え、ゴルフ場で週3回自分たちを待っていてくれると思込んで通っていることが、退職後の自分に張りをもたらせてくれているのかなとも思っています。

読んでいるあなたも、加わるか、加わらないかは、その人の判断です。

心豊かな人生を願っています。ではまた。
(1パーツ：3.3円で考えています)



ハワイの楽しみ方

関東甲信越支部 No.1106 中牟田 登

ハワイ、オアフの朝は早く5時頃にはアラワイ運河のほとりを散歩する人の姿が見えます。ハワイは空気、気候が良いので何もしないで気持ち良く過ごせることを心がけ、できれば簡易に安く過ごせれば良いと考えています。長期的には、足の確保を考え70歳を過ぎたら交通局で\$30のバスパスを購入し、毎月\$5を支払うと全島乗り放題となります。

さて、私たちの毎日ですが、ハワイ大学の先生宅に居候し、1か月近く毎朝ワイキキのビーチを散歩し、一日が始まります。毎日ではないがバスに乗りグランドゴルフに出かけます。以前、千葉の斉藤さんが自費を投じて造られたゲートボール場やグランドゴルフ場で、\$5で半日遊べるし、アラモアナパークやウエスト地区の公園アイヤ辺りでも週2回プレーし、その後の昼食も楽しみの一つです。午後の時間は、中華街への散歩兼買い物へ出かけるのが楽しみで時間つぶしにもなります。また、日本人にはなじみがなく不向きのようなのですが、我々は、アラモアナビーチ辺り



で寝そべって昼寝などを楽しんでいます。

それから、もう一つっておきの情報でもないのですが、無料のコーヒーやジュースを飲みながら日本人ロングステイヤーと楽しく過ごせるサロンがワイキキのど真ん中にあります。そこでは、帰国時のタクシーの手配もやってくれました。

週1回ぐらいは、ハワイに住んでいる友人たちとドライブしながらノースショアのタートルベイやシーライフパークなどへ行きますが、昔と比べ日本人の若者が増えてきていますが、中高年のカップルなどはほとんど

見掛けなくなっており、東南アジアとは大違いのように感じます。

さて話は変わりますが、ハワイで忘れてはならないのが毎週日曜日のキリスト教会行きです、日系人といえども皆さん何処かの教会に所属されてるようで日曜日の昼は必ず教会へ誘われます、南の会の会合場所、日本料理店「サンライズ」の人たちの案内で、毎週日曜日は何をさておいても教会へ行きます。そこでは特に友達が増えます。

ハワイに短期でお出かけになる方たちが宿泊されるホテルですが、現地コンドミニウムの手配業者に短期滞在を申し込む方法もありますが、これはなかなか難しいので、ワイキキから少し離れていますがアラモアナセンターから5分ほど歩いた所にあるパゴタホテルなどは如何でしょうか。シーズンにもより

ますが交渉次第で宿泊費の大幅ダウンも見込めます。



最後に、感心することでもありませんが、ハワイのサービス精神が私にとってちょうど良いとでも云いましょうか、余計なお世辞、お世話は一切なし、それに必要なことは単刀直入にタイミングよく話してくれるし、ハワイに滞在してなんとなく気が休まるというか、落ち着く気分になるのはこの辺に起因しているのかもしれないね。



マレーシアで購入した我家の三種の神器

ペナン支部 No.1546 渡邊 照夫

(当時のレート 1RM(リンギッド)=28円)

三種の神器とは、wikipediaによれば、日本神話において、天孫降臨の時に、瓊瓊杵尊が天照大神から授けられたという鏡・玉・剣のこと。また、神話に登場した神器と同一とされる、あるいはそれになぞらえられる、日本の歴代天皇が継承してきた三種の宝物のこと。三種の宝物とは、八咫鏡・八尺瓊勾玉・天叢雲剣(草薙剣)を指す。皇族はもとより天皇でさえもその実見はなされておらず、多くの面が謎に包まれている。

私が生まれた後の、1950年代後半、神武景気の頃、豊かさやあこがれの象徴として「白黒テレビ・洗濯機・冷蔵庫」が、「三種の神器」と呼ばれた。高度成長期となった60年代半ばには、「3C」(カラーテレビ・クーラー・カー〈自家用車〉)がこれに代わった。

平成の今、デジタルカメラ・DVDレコーダー・薄型大型テレビのデジタル家電が「新・三種の神器」と呼ばれている。などなど色々な三種の神器が云われてきた。

では、マレーシアの我が家に於いての三種の神器とは何か？ 今回ご紹介したいと思う。それは、自分にとって必要不可欠なものであり、便利なものであり、大切なものでもあり、コストパフォーマンスが良いもの。

1. プリンター

航空券予約のボーディングパスや宿泊ホテルのバウチャーの印刷、その他作成資料のプリントUPに絶対必要。日本にあるプリンターをトランクに詰めて持って行くわけにはいかないし、現地で購入するしかない。そして、ショッピングモールというモールの電気店をペナン入り早々から探し回った。

なぜ、プリンターを探し回ったか、私が探

していたのは、インクが外付けの改造品だからだ。純正のインクはみなさんをご存知のようにすぐなくなってしまうし、交換インクはべらぼうに高い。だから、普通のプリンターを探していたのではなく、ブログ等でマレーシアでは売られていることを知っていたので必ずあると探したのである。ありました。コンドの近くのコマタの電気街で見つけた。製品はCanonのiP2770に外付けに黒・青・赤・黄の4色のインクを装着(強力な黒のガムテープで)。プリンター本体=RM120、インク(4色)=RM58 計RM178で購入で来た。交換インクは各色RM10で買える。

現在も何ら支障もなく使用しているし重宝している。だから、神器の一種です。



外付けインクのプリンター

2. DVDプレーヤー

日本を離れて生活するとなると、不自由なく過ごせるようにと考える。音楽を聞いたり、映画を見たりと、持ってきたDVDを流して家内はVaila Vailaでエアロビクスで汗を流す。私はゴルフレッスンの基礎から知識を得て、実戦で試すためにと色々な使い道がある。しかし、日本で使っているプレーヤーはマレーシアでは使えないのである。電圧・コンセントのプラグ形状、リージョンコードによ

り見れない(世界中を6つコード分けがされており、同じコードのプレーヤーでしか見れない)従って世界中どこでも見れるプレーヤーを探す必要がある。またまた、探しました。足が棒になるくらい。有りました。以下のマレー語を紙に書いて見せながら探しました。

Saya mencari pemain DVD. Adakah anda mempunyai apa-apa?

『OSHIMA』というメーカー(聞いたことないメーカーだけど)のDVD-168でRM79で購入。マレーシアで特に電化製品を買うときは、必ず間違いなく作動するか、店で試すことを忘れては行けません。家に帰って作動しなかったらどうにもなりません。自己責任です。これで、世界中どこのDVDディスクでも再生可能です。だから、神器の一種です。



3. ウォシュレット

今や、トイレにはウォシュレットが無いと暮らせません。日本の場合外出先でも今では、ほぼどこでも設置されていますが、マレーシアでは皆無です。我が家には必ず設置しなけ

ればと、日本に居る時から、いろいろ調べました。そして、簡易だけれどあることを確認しました。渡ペ後、すぐに探し始めました。現地の人に聞いたり、電気店を探し廻ったり、結局見つかりませんでした。あきらめかけている頃、コンドの入居前の設備点検の際、不具合を直しに来ていた設備屋のおじさんに聞いてみたら、『有るよ、以前取り付けたことがある』とのこと。やった！お互い言葉が通じないながらも、早速持って来て取り付けてくれる様に伝えた。2日後、設置してもらった。電気は一切使わず水圧だけで水量の調節をダイヤルを手で回して使用する。水しか出ない。(こちらでは温水なしで充分)使い勝手も良い。問題なし。これで、快適にトイレが出来る。この時のことを思い出すと、とてもうれしくなる。1台目を設置後すぐに2台目を注文、次の日設置。2台で本体RM400(200×2台)+設置工賃2台でRM100 合計2台RM500これで、トイレの悩みは解消。めでたしめでたし。日本からお客さんが来てもOK! だから、神器の一種です。

以上が我が家の三種の神器でした。



電源不要のウォシュレット

夏は北海道でゴルフだ!!

関西支部 No.816 有元 義晶

最近のアクティブ世代は、147万人以上が海外ロングステイをしていると言われていす。しかし、国内にも沢山ロングステイ候補地があります、例えば冬の沖縄、夏の北海道などなど…私のロングステイのスタイルは、ここ7年程、冬は暖かい南国、夏は涼しい北海道にしています。(慢性関節炎のため寒さと湿気に弱い)



今回、北海道でのゴルフツアーについてお話しします。退職後、仲間数人と毎年6月・9月それぞれ2週間程度、ゴルフとマニアックな観光をしています。

ゴルフ場は、格式ある札幌ゴルフ倶楽部・小樽カントリークラブ・室蘭ゴルフ倶楽部などと格安ゴルフ場を組み合わせています。北海道には、160か所以上のゴルフ場があり、私は過去も含め70か所以上回っていると思います。

昨年6月は、釧路方面の希望が多く、歴史があり井上誠一監修の釧路カントリークラブを組み入れ、釧路空港ゴルフクラブ、釧路風林カントリークラブなどを廻り、ひなびた花山温泉に連泊、帰路、阿寒の野中温泉に泊りまた、上士幌ゴルフ場プレー後、帯広市内に宿泊 友人行き付けの小料理屋とカラオケに興じました。



ニセコ羊蹄山をバックに

千歳に到着後、翌日から札幌ゴルフ倶楽部輪厚コース、千歳空港カントリークラブ、苫小牧ゴルフリゾート72などでプレーしました。輪厚コース、は、北海道で最も古く、毎年ANAオープンゴルフ大会が開催されており、私の好きなゴルフ場の一つです。

8月後半～9月上旬は、道央中心のゴルフツアーで、ドリーム苫小牧ゴルフ倶楽部のコテージと千歳市内ホテルに宿泊、早来カントリークラブ、桂ゴルフ倶楽部、アイランドゴルフリゾート御前水、室蘭ゴルフ倶楽部、樽前カントリー倶楽部などでプレー、中休みに北電泊原発を視察、ニセコ・積丹半島観光などに出かけました。

私達の集まりは、旧会社の気の合ったO・B仲間、関西・関東・北海道に住んでいる十数名で、最近は噂を聞きつけ若い人が参加するようになりました。

会の名前は「楽伍会」 1、ゴルフを楽しむ 2、旅を楽しむ 3、美食と美酒を楽しむ 4、秘湯を楽しむ 5、旧交を温め、皆で懐かしい話を楽しむがモットーです。

幸い北海道在住者が多く、手配等すべてお



願っています。ここで少し北海道の自然の魅力を書いておきます。

世界遺産「知床半島」、国立公園が6か所、国定公園が5か所と見どころは多く又、映画撮影にも数多く使われています、その為出演俳優たちが毎年訪れている場所もあります。北海道は観光産業が大きなウエイトを占め、集客の為観光行事も多く、冬はご存知「雪まつり」「流氷まつり」「氷祭り」、初夏は「ソーラン祭り」、夏は「大通りビール祭り」、秋は「各地の収穫祭」など数多くあります。最近、LCC参入により空の便も安く、便利になりました、また、お試し移住体験等でロングステイをする人が多くなりました。詳しくは北海道支部のHPを参照して下さい。



大雪山CCにて

最後に、ゴルフ場についての問い合わせが多くありますので、北海道らしい雄大なゴルフ場を列挙します、ただ、最近ではゴルフ場の名前が変わったり閉鎖する所があります。

道南地方

北海道CC大沼コース…雄大なパー73、歴史あるコース

道央地方

札幌GC(輪厚コース・由仁コース)、小樽CC新コース…日本プロ等に使用、樽前CC、札幌国際CC島松コース…東急オープン・女子ツアーに使用 ツキサップGC、北海道クラシックGC、恵庭CC…女子ツアーニドムクラシック…日本オープン苦小牧リゾート72、室蘭GC、ニセコ東山GC…リゾート

道北地方

旭川国際CC、大雪山CC…十勝岳の雪と緑が素晴らしい

道東地方

釧路CC,富良野プリンスGCサホロCC…リゾート気分北海道のゴルフ場は、一般的にコースレイアウト・ティグラウンド・ヘアールウエイが綺麗とされています。GDO・じゃらん等のネットで手配できます。



積丹半島ローソク岩

南国写真サロン



ダバオ支部



ダバオ支部



バビリオン内の日本商品専門店通り
(クアラルンプール支部)



ブキピンタン交差点とKLタワー(クアラルンプール支部)



セブ支部



ハワイ支部



セブ支部



ハワイ支部



ハワイ支部



ペナン支部



ペナン支部



北海道支部



チェンマイのお寺(チェンマイ支部)



バリ島 サヌール海岸(北海道支部)



コムロイ(チェンマイ支部)



関東甲信越支部



この指とまれ(伊東温泉)
(関東甲信越支部)



関西支部



旭川アイヌ記念館(関西支部)



東海支部



SPマーライオン(九州支部)



雨上がりのタイ北部 山岳民族の村
(関西支部)



熊本城(九州支部)

リゾート地 —バトンビーチにて

九州支部 No.1163 山口 淑枝

波打ち際には
流木に雑じってガラスの破片
前緒がすっぽ抜けたビーチ・サンダル
昨日まで泳いでいたであろう
小さな魚の
ぷっくりした亡骸少し悪臭を放つ

日ごと
トラックの荷台に鈴生りで運ばれてくる
清掃をする人々
夜明けと共に
黒いビニール袋をぶら下げ
ゴミの類を集めながら
のろのろ のろのろと
(だいじょうぶ だいじょうぶ！)
マイ・ペンライで通り過ぎると
砂浜はそれなりに綺麗にはなった

ここは世界中の若者たちに
人気あるスポット
ブーケットのバトン・ビーチ
浜の端からはしまで4キロほど
ゆっくりゆったり時を流し
散歩を楽しむ
わたしがホテルに引き上げる頃には
浜は
美しい一枚の絵葉書そのもの
吸い込まれそうな青い空
青い海の一
砂浜にはカラフルなビーチ・パラソル
真っ白いビーチ・チェアが
ずらずら ずらっと並び
沖の方では水上バイクや
パラセイリング

大柄なファランに雑じって
貝殻など探し歩いていると



じゃぱにいず まあだむ かわひい
ひとね ほーてる どこ
片言の日本語で
あれこれと言い寄られちゃったりして
にこにこにこにこ

ここはリゾート地
野暮なことは言わないで
にこにこにこにこ
(ありがとう)
コープクン・カ クン・チュー・アライ・カ
覚えてたのタイ語を喋って
お礼に
ぎゅうと手など握ろうとし

マイ・ペンライ
(きにしない きにしないで！)
褐色の滑らかな肌
きらきら
未来にむかって輝いている瞳
よく手入れされた白い歯
《わたしのうしなっていたもの》
なんとなく孫に似たようなビーチ・ボーイ

あの男は今日も
観光客に獲得物？に
調子のいいこと並べたて
微笑みは絶やさないでいることだろう

セントアンドリュースゴルフ紀行

関東甲信越支部 No.1521 花房 徹

1 初めに

私は、2014年5月26日から6月15日までの3週間、イスタンブール(トルコ)、スコットランド(イギリス)を伴侶と2人で旅行した。

目的は、スコットランド セントアンドリュースでのゴルフであるが、イスタンブールで仕事で駐在している次男にも以前からイスタンブール訪問を進められており、この2つを一挙に解決するために、変則のルートとなった。

南の会の旅の傾向とは少々異なり、北向きの旅で、期間も少し短い、同好の志が、もしあれば参考になるかもしれないと思い記録に残す事にした。

2 旅程

飛行機は、まず成田からイスタンブールに飛んで、ここで次男宅7泊(この間ローマ観光で1泊)、その後、スコットランドのエディンバラまで約4時間のフライト。そこからレンタカーで約1時間セントアンドリュースの近くのアップラーゴの宿までドライブ。ここで7泊、さらに戻ってエディンバラで4泊、行き帰りの機内で2泊した。合計20泊、21日の旅程であった。

3 何故、スコットランドなのか？

62歳で、退職後4年間を、趣味のゴルフ絡みの旅行で過ごし、5年目を迎えた。その間、南の会の情報も活用させていただき、毎年2ヶ国位を訪問・滞在している。主たる目的はゴルフであるが、セントアンドリュースのゴルフの聖地を巡る計画は、退職直後に抱き、たくさんの本を購入して且つ、かなり精読した割には実現にいたらずにいた。その理由は、ゴルフ場の予約等が面倒で現地に行ってもゴルフが出来るかどうか不安だったことだ。でも66歳になって、早く行っておかないとその内に健康上の問題から、

ゴルフの聖地巡りが実現不可能になってしまうとの危惧を抱いたことにある。思えば、23歳で会社に入って以来、ゴルフは私の、最大の趣味となり、その後私の人生に、楽しみを与え続けてくれたがこのような素晴らしい遊びを考え出した人々と土地柄を是非、この目で見ておき、又、感謝の意を捧げておきたいとの思いが強かった。

今回はこの夢を実現できて、多少興奮気味にこの文をしたためている。生きているうちに実現できて良かった。

又、少々古いノウハウ本を読むよりも、頼りになるのはネットであると痛感した。いつもは南の会の情報を得て、その情報を元に旅行することが多いのだが今回の旅は、これまでの会誌にも情報が見当たらなかったのも心細かった。

しかし、自分でネットで探せばなんとか必要な情報が得られることを実感した。



4 ついでに訪問の諸国

ついでに訪問のイスタンブールは、伴侶は2回目の訪問だが私は初めての訪問だった。次男が勤務していないと多分一生行っていない場所であるが訪問してみて、この美しい都市に巡り会えた事を大変、嬉しく思っている。また、日露戦争時にこの町の、ガラタ塔という高い塔に上り、ロシアの艦隊を見張った日本人がいるなどを聞いて日本と関連あるその歴史に驚いた。

又、金角湾を望む高台の喫茶店で、チャイ(トルコ茶)を飲みながら往来する船をのんびりと眺める贅沢を味わった。

ローマでは、地下鉄で少年少女のジプシースリ団に出会って、一時、パスポート、クレジットカード、現金を盗まれる事件にあったがお尻のあたりを触っていた7歳くらいの男子の小さな手を、しっかり握って離さなかったせいで、スリ仲間が現金以外は帰してきた。

当局の対応も結講慣れた様子だったので、この手のスリ事件は頻発しているらしい。

ローマ訪問の際は人を見たらスリだと思ったほうがいい。

さて、おそくなつたが、スコットランドは、素晴らしく人々が親切な所だった。慣れない土地で道を聞いたり、その他お世話になることが多いが、嫌な顔をせず「You are very wellcomed」と、いつも暖かく接してくれた。この土地での思い出はなんといっても、この人々の暖かい笑顔である。

5 セントアンドリュース リンクスの オールドコースの予約方法

セントアンドリュース リンクスには、7つほどのコースがある。その中で、全英オープン舞台になるのが、オールドコースである。

オールドコースには、1年ほど前から予約する方法や、2日前に抽選に申し込む方法がある。4人でプレーの場合は事前に予約しておかないと、折角行っても、プレーできない可能性がある。ただ1人か2人なら、当日朝早く並んでいるとプレーできる可能性が大きい。私も早朝6時前から、一番ティーの近くの小屋の前に列を作ってプレーできた。

ただし、セントアンドリュースでは、コンペなどでプレーできない日が結講あるので、少なくともプレー出来る日と、その混み具合をネットで調べてから行く必要がある。それは、簡単に <http://www.standrews.com/Play/How-To-Book> を検索すればすぐにわかる。

朝は6時からプレーが始まり、夜は、10時まで明るくプレーできるので、結講、多くのプレーヤーを受け入れることができるので、一人で他の組に入れてもらうなら、早朝に並べばプレーできる可能性は高いのだ。

セントアンドリュースオールドコース併設のホテルに宿泊すれば、割と簡単にプレーできると現地の人に聞いたが、このホテルはほとんど満杯であるし、値段も張るので、よほど覚悟していかないと泊まらない。

早朝に、並んで私は5番目だったが、キャディをつけない人が多くて、私が付けると言う、急に待遇が良くなり、すぐに優先的にプレーできた。多分、キャディーの雇用対策もあるのだろう。

プレー代は一名で160GBP、キャディーは45GBPでチップが20GBP程度。尚、カード読み機の調子が悪くて、クレジットカードは使用不可だった。

6 オールドコースでプレーしてみる

アメリカ人とカナダ人と3名でプレーした。キャディー付きは私一人である。伴侶は、散歩を兼ねて一緒に回った。ここはパブリックのせい、コース内が常に解放されていて、一緒に回っても全然問題なし。セントアンドリュースでは、低いランがでて、風の影響を受けにくいボールがいいと思い、ロフトが7度のドライバーを購入していった。2回しか練習して無かったので、スライスに悩まされたが結果的にはこの低いボール作戦が功を奏した。又、ラフに入ると、かなりの確率でロストボールとなるが、キャディーと、伴侶と、同伴者のおかげで、結局ロストボールは一度も無かった。同伴プレーヤーはかなりロストボールしていたので、これは奇跡的なことだ。

前半9ホールは、パーが2つ、ダブルボギーが1つ、後はボギーの44で終了。後半は11番パー3で蝸壺バンカーに捕まり、前に打っても出ず、結局4打を費やして脱出し、7となってしまった。バンカーの壁が1.5メートルで、ボールが壁から30cm位の所にあり、とても前への脱出は無理で、

後ろに打とうと思ったのだが、キャディーが「Nothing is impossible」と、昔、勤めていた会社の社長が言っていたような事をのたまわったので、どうせプロでもコンペ参加でもないのだから「Nothing is important」だと思いきりボールを引っぱいたが、ボールは2度の懸命のスイングにも拘らずバンカーを脱出できず、3打目でこれは、無理だ、壁に当てて、ボールを壁から離さないと永遠に出ないと、考えた。そうすると4打目でようやく峭壺脱出できたという事だ。

その後は、2バーディー、3パーがとれて、結局42で、上がった。合計86で、私としては上出来のオールドコースだった。

以下はスコットランドへの旅行のノウハウですが、もし行かれる方がいたらネットで最新の情報を得て行くことをお勧めします。

7 ハンディキャップ証明書の取得方法

スコットランドのいくつかのコースではハンディキャップ証明書が要求される。ゴルフクラブのメンバーであれば、そこで発行してもらえが、所属がない場合は、GDOのサイトにアクセスして、JGAのスコア管理に入ると、JGA公認のハンディキャップ証明書がプリントできる。10回以上の成績を入れたり、ゴルフ場が限定されるなどの制約があるが、臨機応変で対応すればいいだろう。

年間2500円かかり、証明書は6ヶ月有効とあるが、そんな物は海外では誰も気にしない。ただ、日本語で書いてあるのでプリントしたあとで自分で、簡単な英訳をつけておくことをおすすめする。

8 レンタカーを借り、運転する

ネットがあれば、日本にいながらにして、エディンバラ空港でのレンタカーが予約できる、便利な世の中になった。

イギリスでは、マニュアル車が主流らしくて、私の借りたフォードのフォーカスというコンパクトカーはマニュアル車だった。

マニュアル車を運転するのは30年ぶりだが、

オートマチックにすると、値段が跳ね上がるので、費用対効果からマニュアル車を選択。又、慣れない土地でも運転を考えて、カーナビも借りた。一日3000円ほどと、考えられない高額だったが、結果的には事故もなく借りて良かったと思う。イギリスには日本と同じく郵便コードがあり、目的地の設定にはこの郵便コードが必要。行きたいところがあれば、まず郵便番号を調べる。

イギリスの道路で、日本と大きく違うのは、信号がなくて、ランダバウトと呼ばれる、交差点があることだ。

右から来る車が優先でそれさえ覚えておけばどうってことは無いが、運転してすぐに、右からの車を見落としてクラクションを鳴らされてしまった。

9 宿を予約する

宿は、セントアンドリュースから20分ほどの「The upper largo hotel」に、7泊、エディンバラの「Ocean apartment」に4泊した。これもネット(Booking.com)で調べて予約したものだ。前者は朝飯付きで、朝からスコットランド風というボリュームたっぷりの食事が出てくるので、昼夜は、軽めの食事で済んだ。この宿には寝るだけで冷蔵庫も無く、バスタブもなかった。

電気ポットがあり、おいしいスコットランドの水で、お湯が作れたので、持参のカップラーメンなどを食べていた。

後者は、前者に比べれば、5倍ほどの広さのある清潔なサービスアパートメントで、冷蔵庫はもちろんの事、炊事道具一式が揃っていた。予約時にカードで支払った事もあり、割引料金だった。



スーパーも歩いていける距離にあり便利だった。

ちなみに、前者は80GBP／一泊、後者は95GBP／一泊。

10 為替レート

有利な為替レートで換金することは、旅行者の関心事の一つであり、それゆえ、南の会でも有識者諸氏から様々な方法が提案されてきた。私は入会以来そういった方から知識を授けられた一人である。

まずは、現金を使わずクレジットカードでの支払いがもっとも為替レートがよい。現地の通貨が必要な時は、クレジットカードのキャッシング機能を使い現金化し、このローンの高い金利の支払いを防ぐために、できればカード会社に電話をして早期の返済をする。そういう基本姿勢で対応した。

今回はまずエジンバラの空港で、GBP(ポンド)をキャッシングした。当日の為替レート(仲直)は、175円くらいだったが、なんとこの時の換算レートは187円でさらに手数料が800円も取られた。空港でのキャッシングは大体において不利である。

翌日、セントアンドリュースのスーパー設置のATMでの換金は、171円／GBP、手数料600円だったので、場所が変われば大きく為替レートが違うことを改めて痛感した。空港での換金は最低限にして、市中の有利なATM、交換所を探すべきだ。

この有利なレートと関連があるかどうかかわからないが、空港で変えたときは普通の女王陛下の絵がある紙幣がでてきたが、セントアンドリュースでは、中央銀行ではなく、スコットランドの銀行で印刷された紙幣が出てきた。この紙幣は、スコットランドで使うには全く問題がないが海外では交換ができないらしいので要注意だ。

11 お土産の購入とVAT(付加価値税)の返金

空港では、小銭も含めて残った現地通貨を全て使って、食事やお土産に使い、現金の足

りない分はクレジットカードで支払うことにしている。こうすれば、小銭が手許に残って損をすることもない。免税店で買った場合は関係ないが、市内で買った場合は、税金の還付を受けられる。購入時に税金の還付シートを貰っておき、後で、入管後に、封筒に封をせずに、5番ゲートの近くにTAX用のポストがあるので、そこに入れておくと、後でクレジットカードに返してくれる。

110GBP以上が対象なので、小口で買わずに一つの店でまとめて買ったほうがいいのかもわからない。

12 その他のコースでのプレー方法

セントアンドリュースのあるファイフ地方には、いくつものゴルフコースがある。今回、回ったのはセントアンドリュースリンクス中心で、オールドコースの他に、2つ回った。その他宿から比較的近かったレーベンコースも回った。オールドコース以外は伴侶も一緒のプレーである。予約してなくても、現地に行って、プレーしたいというと、当日はできなくても必ず空いている日に予約がとれた。

ミュアフィールドのような、超有名コースは別にして、会員制のクラブでも結講プレーできそう。それでも、もしやりたいコースがあれば事前に予約していくに越したことは無い。私はノースベリックという由緒あるコースを唯一日本で、電子メールで予約していった。

クレジットカード番号を知らせると、40GBP(2人分)引き落とされる。さらに現地では140GBP(2人)払ってプレーできる。

予約の電子メールもみよう見まねで書いたがなんとか意思を通じることができた。意志あるところ道は通じると思った。

ただこのコースは、私は86で回ったがかなり難しく、伴侶は途中でスコアを数えるのをやめてしまったほどだ。

終わってから体がズキズキ痛み身体中膏薬を貼って寝た。18ホールを歩いてまわるので

強風下で少々アップダウンのあるコースを回るのは、かなりきついのである。結局、セントアンドリュースリンクスでは、3回、エディンバラでは、3回の合計6回のプレーをこなし、そのほかのプレーしなかったコースもできるだけ車で訪問、見学してきた。

13 旅行費用(2人分、180円/GBPで換算)

飛行機代(イスタンブール経由エディンバラエコノミー)	310,380円
宿泊(セントアンドリュース 7泊)	560GBP
宿泊(エディンバラ 4泊)	379GBP
	計169,200円
レンタカー(11日)	744GBP
	134,000円
スコットランド諸経費(食費、土産等)	108,600円
ゴルフ経費(6回分、内5回はふたり分)	148,000円
	合計870,180円

(注1)イスタンブール、ローマ観光分経費は省略、飛行機代はイスタンブール経由なので割高になっている。

(注2)レンタカー走行距離 約500KM

14 後記

帰国してから、スコットランドの独立の是非を巡る住民選挙があったり、またNHKの朝ドラ「マッサン」が始まって、そのドラマの中で、日本で最初のウイスキー作りに挑戦する主人公の奥さんの出身地がスコットランドであったりと、随分とスコットランドは、我々日本人の身近に感じられるようになってきた。

5月末から6月初めにスコットランドを訪問して少し寒いかと、防寒具も用意していったが気候は素晴らしく、暖かく花々が咲き乱れた土地であった。日本からは少し遠いが、また折を見て、再訪したい土地である。

ペナンでのロングステイスタート

関東甲信越支部 No.1630 菅野 純

昨年5月に「南国暮らしの会」(以下「南の会」)に入会するとともに、各種LSセミナーに参加して昨年10月にMM2H(マレーシア10年ビザ)を取得し、本年1月末に約45年間の会社勤めから晴れてリタイアし、本年5月よりペナンでのLS生活をスタートしました。

(経緯)

若い頃から海が好きで、将来は何処かの島で暮らしたいという希望を持っていて、ここ数年何処で暮らそうかと色々夢と不安を抱きながら思いを巡らしていました。数年前よりBS放送等でクルーズ旅の中で海外でのLS生活をされている方々を見聞きして「島での海に近い生活」を国内か?海外か?、海外なら

どこの国か?と考えていく中で、治安、物価を重視して、また長期ビザ取得の条件も考慮し、更にいつかは海外クルーズを「自分の言葉で」クルー達と話をして、経験したい……その為には、英会話の勉強をしなくてはと考え(沖縄も有力候補でしたが)マレーシアという結論を出しました。昨年10月にKLに出向きMM2Hを取得し、リタイア後の今年の3月にKLとペナンに下見旅行をしました。(ペナンでは南の会ペナン支部の方々と会食をさせていただき、アドバイスをいただきました。)長い社会人生活から解放されゆっくりした生活を過ごすには、KLよりペナン島と決め、5月より待望の海外LS生活をスタートいたしました。短期の繰り返し、中長期かと悩んでおりましたが、住居を



探し進めていく中で年間契約でコンドミニアムを探すとRm2,000~3,000(6~9万円/月管理費、駐車場、プール、スポーツジム付帯)が相場で、光熱費も日本と比べ大幅に安いことがわかり、少し割高でしたが築1年半、3ベッドルーム、薬120㎡、丘の上の26階建てを借りることにしました。(前述通り、管理費、2台分の駐車場込約8万円弱)

(生活費)

電気代は、エヤコンの使用率によって変動しますが約¥2,000/月、水道代は、約¥250/2ヶ月、プロパンガス代は、いまだ補充交換をしてないのではっきりわかりませんが¥1,500/年程度と思われます。水道水は、沸騰させれば飲用可能ですが、ミネラルウォーターの宅配¥300/20kgを使用しています。インターネットのプロバイダー費用が一番高く¥3,000~5,000/月掛ります。

(交通)

公共交通機関はバスですが、通常距離Rm1.4(但し、MM2H取得者はRm 0.7)又、タクシーはメーターは付いていますが実際は事前交渉でRm20~30(約20km程度)。

(食費)

食費は、変動幅が一番大きいと思いますが、学校の放課後よく日本人で揃ってランチに行

きますが、Rm4~5/食程度、夕食は、多くの人が利用しているホーカー(屋台レストラン)でRm20~30(アルコール別)、週1回程度贅沢にホテルのレストランでRm100程度になります。

(医療)

日本語の通じるスタッフがいる病院
一回だけ風邪症状で受診、前日に予約し、受付、受診、薬発行で30分弱。
費用は、日本で付保していたのでゼロ。

(治安)

領事館より置き引き、スリ被害発生の情報があるに流れますが日本国内と同様、暗く、寂しいエリアを夜(10時以降)一人で行動しないようにしているので不安を感じたことは無し。

(その他)

英会話学校に3~4回/週通っており9時~12時の授業で¥2,000/回となります。
又、現在ペナンでは、単身生活をしており2~3ヶ月毎に日本に戻りますが、航空運賃は数条運賃で7~8万円/往復だと思ひます。



(総括)

海外LSのパンフレットによく「年金で生活できる国」と案内が乗っていますが、ペナ

ンでの半年の生活を振り返ると、通常、中流程度の生活であれば、衣食住、光熱費全てで¥200,000/月以下で十分な暮らしができると思います。コンドミニウムには、家具、電化製品は生活必需品として殆ど付帯されており、新たに購入した物は結果的に殆ど使用していないアイロン、ヘアードライヤーだけです。気候も四季の差が無く一年を通して日本の初夏のようですが、日中炎天下の下ではかなり暑いですが日本と比べ湿度が低く大変過ごし易いです。今の住居は丘の上に立地し風通しが非常によくエアコンを使用することも少なく殆ど短パン、半袖シャツで過ごせ、レストランにも同様な服装で出入りでき身なりを気にせず行動しています。

機会があれば、生活費用、環境についてももう少し詳しくご案内したいと思いますが、簡単に下記に再度纏めます。(当然のことながら、生活状況によって増減します。)

〈1か月当たり〉

住居：年間契約でRm2,000~3,000(管理費、駐車場込)殆どが3ベッドルーム、3シャワールーム(バスタブ無しが大半)100~150㎡(広さによって異なるも、築年数が大きく左右する。)

光熱費：電気、ガス、水道 計Rm300

宅配ミネラルウォーター



Rm8/20ℓ、20ℓ×6ボトル/Rm48

インターネット Rm100~150

交通費：2日に1回外出のバス代 Rm28(往復)

Rm42(MM2H取得差は半額)

週1回タクシーで外出

Rm20~30×2(往復)×4回

Rm160~240

食費：Rm1,000(生活状況によって大きく変動)

その他：趣味、旅行、ゴルフ等

単身生活のため、家事が億劫になったり時間を持て余すことがたまに有るものの低コストで生活環境も良く、LS生活地としてペナンはかなりお勧めと思います。LSを計画、検討中の方は是非下見にいらして下さい。きっと「お気に入り」になることと思います。来島、お待ちしております。



タイ北部トレッキングツアー体験

関西支部 No.1634 長田 隆秀

昨春、南国暮らしの会に入れていただいたNo.1634の長田でございます。定年になって間もない61歳ですが、今年から再就職をいたしましたので、また憧れのロングステイができなくなってしまいました。

関西支部では、バックパッカーであると自称しておりますが、大それたものではありません。

時間がないので長くても20日前後の旅です。初めての一人旅が40年近く前のことですが、大学卒業間際によくある卒業旅行でした。バック旅行でヨーロッパに行きました。そのバック旅行というのが、最初にロンドンで一泊、23日後にローマで一泊あとは何にもなしで¥168,000というものでした。

就職が決まっていれば旅費は銀行ローン付でして、20万円を借りて1万円ずつ返した覚えがあります。欧州7ヶ国十数都市、トマスクックを片手にユーレイルパスで夜行の連続をしながら駆け回る弾丸旅行をいたしました。無事に楽しく帰って来ることができたことから、計画や予約のない旅が一番楽しい旅の仕方になりました。当時と比べ未だ気力体力の衰えもなく、今も同じスタイルの旅を続けています。

今回の話は、約3年前にJALが4時間遅れで深夜に2度目のバンコクにようやく到着したところから始まります。最初の2泊以外な何も決まっていない旅です。翌日はウイーク



カオサンのバックパッカー

エンドマーケットに行き次の日にはカオサンに行きました。カオサンをご存知でしょうか？ 猥雑な大都市バンコクにあって、世界的に有名なバックパッカーの聖地と言われている街です。ここには小さな旅行社がたくさんあります。近隣の日帰りツアーからネパールあたりまでのツアーが毎日出発しています。

同じようなツアーを売っているのですが、お店によって値段がまったく違うのです。たくさん廻ったあげくに最初に行った旅行社に決めました。あまり安いところは後で追加料金をたんまり取られるという売り口上を信じたからでした。でもこの判断は根拠があったわけではなくて、間違っていました。

同じツアーにわたしの3分の1ぐらいで参加している人もいました。同じツアーですから内容は一緒なわけです。3倍取られてしまいました。正確には5,000バーツと1,700バーツでした。

もしアジアで現地ツアーに参加するなら一番安いところがお勧めです。カオサンには、この時には知らなかったのですが、「サワディ・アンコールワットツアー」というお店があります。ホームページもあります。マモルさんという日本人で30代前半の男性が店員をやっているお店です。



日本語ツアーをリーズナブルなお値段でやっていますので、イングリッシュツアーで英語の勉強をしようという目的がなければ、ここがお薦めです。イングリッシュツアーの参加者は、英語のわかる人達ということになります。わたしは片言の英語しかできません。日本人はひとりで寂しい思いをするかもしれないと少し躊躇しましたが、当時は、約一週間の旅を移動なしで過ごす方が慣れていませんでした。バスで約10時間かけてチェンマイに行き、山に登り、山岳民族の家屋に2泊するというツアーに参加することにしました。夕刻にチェンマイに向けバスが出発します。いろんなトラベルサービスの参加者が乗り合わせて同じバスに同乗するようです。到着するまで日本人らしい人は見当たらなかったのですが、少し憂鬱になりましたが、到着してみるとひとり沖縄出身の大学生が同じツアーに参加していてほっとしました。彼は、英語が結構できることから旅の間もずいぶん助けられました。他の参加者は、イギリスとオーストラリア人、他はわかりませんが、もちろん欧米人のようです。朝方にチェンマイ市内の小さなホテルに到着し、荷物を預けました。朝食は、近くの屋台で食べてすぐに出発です。大きな荷物をホテルに預け出発途中、蘭園やヘビ使いのパフォーマンス、そして首長族の村への観光がありました。これらは、南国暮らしの会のメンバーであればチェンマイからの観光で行かれた方々も多いのかもしれませんが。そもそも山に登るつもりでタイにやってきたわけではなかったのですが、心構えがありません。亜熱帯のトレッキングツアーというのはそれなりに大変なものです。2泊3日分の荷物はしっかり背負っています。高校時代に少し山岳部の経験があるのですが、当時より体重は25キロも増えてしまっています。どこをどう歩いているのかもわからない亜熱帯のジャングルを歩くのではなく登るのです。それでも、綺麗な水の滝や川がしばしば迎えてくれます。そのたび毎にツアーメンバー



は全員が、着ていた服を脱ぎ捨て水に飛び込みます。みんな水着を着けていたのです。若く美しい女性もいたのですが、毎回ビキニで滝に打たれるので最初はびっくりです。ジャパニーズツアーならこんなことはなかっただろうなと思いました。初日の宿泊地までもう少しのところまで急こう配になり、太り気味の女性達とわたしは遅れ気味になってきました。ガイドさん達は、ゴム草履ですいすい駆けるように登っていくのです。



苦し気にヨタヨタ登るわたしを見かねて最後には、わたしのリュックを一緒に背負ってくれました。

宿泊地はホテルではなく、山岳民族が住んでいる小屋と言ったほうが良い高床式住居でした。

1泊目だけは他のツアーから合流してきた日本人の学生カップルと若い男性の3人が一緒でした。

日本人はその夜だけは、5人になりました。

彼らは1泊のツアーに参加したとのことでした。

食事は、男性のカイドさんたちが作ってくれます。それをホーローの洗面器に入れられてきて、すくって食べるというわけです。わたしを含め、こんなツアーに参加する人なら大丈夫です。

みんな美味しそうに食べていました。



ガイドさんの調理風景

夜は楽しいひと時です。みんなで英語の歌なら一緒歌うことができます。もっとも歌詞カードなんてありませんので、わたしが歌えたのはビートルズのイエスタデイぐらいでしたが。そして夜が更けると電気はありません。ろうそくが何本かです。暗闇の中でギターのうまいメンバーやガイドさんもいて、歌ではずいぶん盛り上がりました。寝所は隣の部屋にあって、蚊帳もありましたが、敷布団は、毛布が2枚重ねぐらいのものです。疲れ切っていたのでぐっすり眠ることができました。



翌日は、山を縦走でしたから初日ほどの急こう配はなく、比較的楽な行程です。お昼ごはんは、拠点があり掘立小屋でやはりカイド

さんたちが同じように作ってくれました。その日も水場はしばしば現れ、またも全員で水浴びです。2泊目の宿泊所は黄褐色の濁流が流れる川のすぐそばにあって、一晩中轟音の中で眠らなければなりません。あまりの轟音に驚きどうしようかと憂鬱になったものでしたが、疲れているというのはいいもので轟音の中でもすぐにぐっすり夢の中でした。翌朝目を覚ますと小屋の周りに、象がたくさん押し寄せていました。良く人に慣れた象たちです。バナナ売りの人もいて、生まれて7か月という小象にバナナをあげました。



目覚めると象が

皮をむいて口に持っていっても食べないのです。大好物じゃないのかと不思議に思い何度も口に持って行っても食べませんでした。すぐにわかったことですが、まだ幼くて母象のお乳を飲んでいたのでした。その日はこれらの象たちに乗って散策をし、また濁流をラフトで下るサービスもありました。あまりに激しい流れにラフトは転覆し、しばし泳ぐことになりましたが、危険を感じることはなかったです。



最後のお昼ご飯は野外レストランで焼き飯と果物を食べて、この楽しかったツアーも終わりに近づきました。車が迎えてくれてチェンマイの荷物のあるホテルには、午後3時ごろには到着していたでしょうか？ バンコク行きの大型バスに乗り込む前に、マイクロバ

スがピックアップに来てくれるまで、しばしチェンマイの街を散策できました。チェンマイのどこかはわからない街の一角で、ホテルに帰って来られるよう注意しながら歩き、ビールと軽い食事をしました。

もっと居たかったですチェンマイ。

お役立ち情報

クレジットカードの海外旅行傷害保険 東海支部 No.1410 加藤 正也

海外渡航中の保険はどうされていますか？

今年、会員の方がセブで心筋梗塞でのカテーテル手術を受けられたのですが費用は400-500万円でした日本なら100万程度でしょう元論保険がききますからその3割そして高額医療援助を受ければ10万以下です。

フィリピンは日本違い自由診療の国です。お客がお金を持っていけばいくら請求しても構いません。あなたの滞在地では如何でしょうか。

私は、海外旅行傷害保険付きのクレジットカードを沢山持っています。保証金額は死亡時は持っているカードの最高金額ですが事故治療 賠償責任 携行品の盗難、破損 救助者保険は各カード保険金額の合計です。

〈ポイント〉

自動付帯で年会費無料もしくは簡単に年会費無料になるクレジットカードが良いですよ。カード申し込みはインターネットで出来ます。カードは何百種類とありますが書類審査する機関は3-4社です。同時に何社も申し込むと不正使用(借り逃げ)されると思われ審査で拒否されます。

私は9社同時申し込みでエポスカードとオリコカード ビックカメラカードで拒否され

ました。(年収も十分、持ち家、借金無しです)

〈取得したカード〉

KCカード、ジャックス横浜、ジャックスR-style、JCB EDIT、DCカードJizile、イオンSuica、それと元々持っていた楽天ゴールドで合計は治療費980万、賠償責任1,100万円、携行品110万円、救助者850万円、買い物保険450万円。アメリカ以外では大丈夫かな??

自動付帯とはカードを旅行時に使わなくても保証、使用付帯はカードを旅行時に使った時だけ保証。

下記を参考にしてください。

クレジットカード海外旅行保険比較表

<http://choro.asia/creditcard.htm>

一番得するクレジットカード

<http://creditcard.e-ocean.biz/insurance/cardhikaku.html>

海外旅行保険付きクレジットカードの選び方

http://hikaku-master.com/card_choice.shtml

海外医療情報センターの記事です

<http://www.medsos.jp/index.html>

アメリカ本土へ旅行中に心臓疾患で救急搬送を受けカテーテル手術等を受け2週間程入院しただけで請求が3,000万円、交通事故でも1,000万円、盲腸は300万円を超える金額が目立ちます。

韓国、仁川空港の乗継ガイド

関東甲信越支部 No.1578 山本 雅巳

チェンマイに行かれる皆様、行き方については色々のルートがあると思いますが、一般的に、タイ国際航空、日系航空会社(日本各地—バンコク—チェンマイ)、キャセイパシフィック—ドラゴン航空(日本各地—香港—チェンマイ)あるいはエアーアジアなどのLCC等、色々あると思いますが、今回は、仁川(日本からではないですよ。)からチェンマイに直行便を出している大韓航空のメインエアポートである仁川国際空港での乗継についてお話しします。

大韓航空は、日本各地(札幌、青森、秋田、新潟、東京、小松、静岡(運休中)、名古屋、大阪、岡山、福岡、大分、鹿児島)から韓国、仁川空港—チェンマイを結んでいます。

日本各地から、チェンマイに行くために、まず仁川空港にてチェンマイ行きに乗換えが必要です。慣れれば、仁川空港は大変わかりやすいのですが、最初はちょっと不安でもあります。

そこで、乗継の方法ですが、チェンマイ行の皆さんは、だいたい出発空港で日本(各空港)～仁川、仁川～チェンマイの2枚のボーディングパス(搭乗券)を渡されると思います。

さて、飛行機が仁川に到着してドアが開きブリッジを渡り旅客ターミナル2階に足を踏み出します。通路に沿って歩くと、所々に「Transfer」のサインボードがありますのでそれに従って乗継専用入口に進んでください。(絶対にイミグレーションには、行かないで。)

乗継の専用入口を入るとセキュリティーチェックポイントがあり、日本出国時と同じような手荷物検査とボディーチェックがあります。そこを通過して、エスカレーター又は、



エレベーターで3階に上がります。3階が、出発のフロアとなっています。

基本的には、そこでチェンマイ行の出発搭乗ゲートをチェックして、指定された時間(出発の30分前)までに出発搭乗ゲートに行きます。出発までの時間に余裕があるのでしたら、空港内を散策する、免税店でお買い物、催し物を鑑賞する、トランジットツアーに参加するなど過ごすことができます。

後は、時間になったら案内に従って搭乗するだけです。数時間後にはチェンマイ空港に到着です。



韓国無料トランジットツアーについて

仁川空港では、トランジットで時間待ちをする人々のために色々な無料のトランジットツアーを企画しております。申し込みは、1階か2階の中央にあるトランジットツアーデスクで行います。(ツアーに参加されるためには、パスポート、仁川までの航空券、仁川空港を出発の搭乗券が必要です。)

内容は、

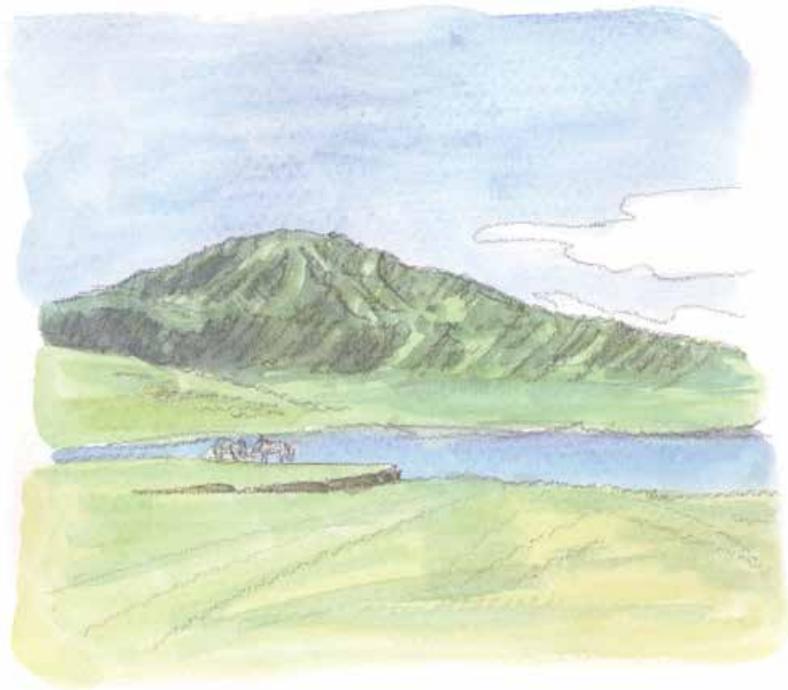
- 1時間コース 竜宮時お寺ツアー(龍宮寺)
- 2時間コース 仁川お寺ツアー(仁川大橋、興輪寺他)
- 3時間コース 仁川文化ツアー(新基市場、仁川都護府庁舎)
- 3.5時間コース 仁川都市ツアー(仁川大橋、月尾公園、新浦市場)
- 5時間コース ソウル都市ツアー(景福宮、仁寺洞通り他)
ソウル文化ツアー(昌徳宮、東大門デザインプラザ)

ソウルショッピング0ツアー (明洞、南山韓屋村)

この企画は、ツアーバスとガイドの利用が無料提供となっており、入場料、昼食料(あれば)は、含まれておりません。又、出発時間、各所の休日等の制約はあります。

ご自分のフライト時間に合わせて選択できるので有効にご参加ください。

なお、本文は、大韓航空(株)作成の「東京発 乗継ガイド」を参照しています。



支 部 便 り

北海道支部便り

支部長 No.1285 桂 裕章

北海道支部の今年後半の主な活動を紹介します。

この7月の「南の会・説明会in Sapporo 2014」などの開催により、皆様の尽力のお陰で新しい会員が増えました。

現在では、家族会員を入れると103人となっています。

(1) 平成26年 8月支部臨時役員会

日 時 平成26年 8月 5日

場 所 札幌市厚別区アークシティー

内容

- ・次回支部定例会の開催について
- ・支部の現状諸課題について
- ・役員の新しい役割分担等について

(2) 女性サロン会の開催

日 時 平成26年 8月 25日

場 所 札幌市中央区南13条西23丁目

エルムガーデン

4名参加

(3) 平成26年「支部10月例会」開催

日 時 平成26年10月 7日

場 所 札幌市中央区北 2 条西 7 丁目

かでる 2・7

参加者 32名

内容

- ・本年度に入ってから新規の会員が増えたことから、新会員との交流をメインにして例会を開催しました。
新会員の出席者13人から自己紹介があり、ロングステイについての意見交換等が積極的になされました。
- ・新北海道支部連絡ネットの開通について
工藤俊一さん(No.625)からあたらしい北海道支部連絡ネットの構築について、パソコン画面を使いながら詳しい説明がありま

した。

これは工藤さんが「グーグルのメーリングリスト」を使って、南の会北海道支部の会員のために、新しいMLを作成していただいたものです。

これにより、メンバー間の情報交換等で、たいへん便利になりました。

- ・ロングステイ情報について、お二人からお話がありました。

当麻庄司さん(No.1559)から～

マレーシアなどの「私のロングステイ計画」のお話がありました。ロングステイの目的は趣味の「ゴルフ」と「コントラクトブリッジ」に参加しながら、観光と現地の人々の交流です。

守屋勝啓さん(No.1247)から～

フィリピンのセブとダバオの最近のステイの状況と初めて訪れる時の注意する事柄などについて、具体的なアドバイスがありました。

東北支部便り

支部長 No.498 氏家 孝

平成26年度第2回東北支部情報交換会の開催

平成26年 9月 28日(日曜日)

山形県鶴岡市 湯野浜温泉「ホテル 海麓園」

情報交換会 午後 4 時 : 00 ~ 5 : 30分

懇親会 午後 6 時 : 00 ~ 9 : 30分

参加者 #498 氏家 孝 #1027 佐藤 周司

#1356 小松 実 #1666 舟田 照夫

#1705 木村 俊一ご夫妻

五十嵐裕子(ゲスト)

参加者の情報の概要

- ①マイルポイントが倍加され、その他の特典等を手持ちのカード(ゴールド)を示し説明

(活用出来ればより安価に旅行が出来そう
で協賛の声多く出た) 氏家 孝

②自然を求め1ヶ月以上、寝袋持参で道の駅
を利用したりで車上泊、釣り、友人から誘
いがあれば、ゴルフもやるが、手軽で低費
用でやれる自分流の旅を継続実行中!

(こういう旅も味わい深いもの、興味を示
し聞きいった) 舟田 照夫

③数多くの、海外旅行の経験が話された。特
にフェジイ滞在での現地人宅に招待され
食事等の場面も面白おかしく、熱心に語り
かけられました。

(なかなか出来ない旅行、現地密着体験等
参加者から質問続出) 小松 実

④1ヶ月間のタイ、チェンマイステイの様子
を、写真180枚を使い、大型テレビでスлай
ド映像を流した(説明。映像。現地の案内図)
で分かりやすく伝えられた。佐藤 周司

⑤在職中の為、短期での国内外旅行に限定し
ているが、近い将来は海外に住んで見たい
と、情報交換会にご夫婦2人で初めて参加
しました。 木村 俊一

⑥海外を主に数多く自分流の旅を安価に楽し
んで来たが、より多くの情報を得たいと情
報交換会に参加。 五十嵐 裕子

様々な体験を見聞き、説明を受け、本当に各
自、参考になりました。

次回は平成27年4月に宮城県の松島での開催
を決め、翌朝解散しました。



関東甲信越支部便り

支部長 No.1118 肥後 憲尚

関東甲信越支部の活動を紹介します。

毎月定例のサロン会を大崎 南部労政会館で
午後1時より開催し各月 スピーカー2人~3
人に貴重な体験談、情報を頂いています。

後半は小グループに分かれ全員参加型の情報
交換会を行なっています。

サロン会後の懇親会はレストラン「ロオジ」
で、いつも賑やかに談笑し盛り上がっています。

①8月サロン会(43名参加)&懇親会

テーマ★「イタリア歩き」

スピーカー 永田 隼人さん

★「ロングステイ事情、今後のロング
ステイの展望」

講師 ロングステイ財団部長
佐藤 様

②9月サロン会(50名参加)&懇親会

テーマ★「北海道おためし移住体験」

スピーカー 宮原 正字さん

★その他

③10月サロン会(57名参加)&懇親会

テーマ★「マレーシアにおけるロングステイ
事情」

講師 ロングステイ研究所所長
山田 様

★「ラオス北部バックパッカーふれあ
い4人旅」

スピーカー 肥後 憲尚

○毎月定例のパソコン教室を1日開催しています。

10月のパソコン教室のテーマ(内容)は
パソコン動作を速くする(視覚効果)

WiFi: モバイルルーター; テザリング
公衆WiFiのアカウントを作る

タブレットのアプリ(GPSを利用するアプリ)等。
講師 会員番号60番 渡辺 義郎さん

○8月よりサロン会前 午前にミニパソコン教室
(パソコンお困り相談)を渡辺さんの好意で開

催しております。

- 毎月定例のテニス同好会を憧れのテニスコート日比谷公園・芝公園テニスコートで15人～20名会員と楽しみ、プレー後は夜の部も盛況です。
- ミニサロン会「この指とまれ」11月17日(1泊2日)伊豆の温泉で開催しました。(18人参加)
- 有志による台湾視察旅行を10月28日より7泊で楽しく周って来ました。
- 「ロングステイフェア2014」が東京ビックサイトで開催。
関東甲信越支部メンバー20名が参加。



東海支部便り

支部長 No.843 土井 研一

秋風が立つとともに、北の国で過ごしていた方々も帰ってきて定例会や平日サロン会にもぎやかになってきました。

9月の定例会では、高島さんによるセントレアからエアアジアを使ってクアラランプール→ペナン→ランカウイを周遊した報告や、北海道で「ちょっと暮らし」をしていた人たちの「申し込み方から暮らし方」まで幅広く貴重な体験談がありました。

10月の定例会では、岩田さんから7月に夫婦で行った「行き当たりばったりのヨーロッパ1ヶ月の旅」で、パリのホテルを4日間予約したのみで、あとはフランス→オーストラリア→ス

イスを列車と飛行機で個人旅行し、iPadと「地球の歩き方」が役に立った話がありました。

加藤さんから6月上旬から約1ヶ月間行った「いとまごいのヨーロッパ旅」で、イングランド南部の港町からスコットランド北部の町まで友人とドライブ5000Km。その後オランダやフランスの古い友人に会ってきた話がありました。

村田さんからは8月末から12日間の豪華南米旅行で、イグアスの滝やマチュピチュに感動した話がありました。

10月10日には好天に恵まれて、東海支部「秋のゴルフ大会」(通称南の会マスターズ)が開催され、日ごろの運動不足解消と懇親を深めました。次回は来春5月頃を予定しています。



15周年記念行事は外部講師を招いてセミナーを開催する事が決まり、11月には、いつまでも元気で南国に行けるように健康寿命を延ばすための「健康セミナー」と、最近注目されている「ミャンマー」の紹介をすることになりました。12月には台湾やベトナムの人を招いて話をしてもらう予定です。

また、9月の定例会からスマートフォンやタブレットの使い方わからないことを、お互いに勉強する時間を設け、ポケットWiFiやスマートフォンのテザリング機能を使って南国掲示板の見方やLINEの使い方から始めました。以上

関西支部便り

支部長 No.173 平山 三雄

関西支部の主要な活動を紹介します。

○8月例会(ビアパーティー)の開催

18日 神仙閣屋上ビアガーデンにて30名の会員を迎え6時より恒例ビアパーティーが催されました。

ずっと天気が悪く、その日の天候が心配されましたが、比較的風がある日で楽しくラストまで歓談いたしました。

最近随分新しい会員さんが参加くださり、また神原さんや遠くは金沢から宮坂さんも参加下さり、楽しく夏の夜のひとときを過ごしました。



楽しそうな写真

○10月総会(情報交換会)の開催

①例会

・「タイ北部 トレッキングツアー体験」

～長田さん

山岳民族や首長族の住む村を徒歩で走破されたそうで、その体験談をお話頂きました。宿泊先や食事の写真をを見せていただきツアーの過酷さが良く分かりました。

年配者ではとても付いて行けない貴重な体験をされたようです。

・「台湾滞在 あれこれ」～徳永さん

台中にある「振英会館」に滞在され、台湾でのロングステイの内容を報告頂きました。



挨拶をされる平山支部長

LCCが約3万円、宿泊費は1ヶ月11万円、諸経費、観光代金を含めて22万円程度費用が必要とのことでした。

来年度の「この指とまれ」で滞在者を募集中ですが、ほぼ満杯になっているようです。

・「関西・九州支部間交流会の案内」

～有元義晶さん

NPO15周年記念事業として「関西・九州支部間交流会」が企画されており、その詳細について案内を頂きました。

秋吉台国際芸術村で宿泊し、支部間のパフォーマンス合戦が楽しみです。

・「金沢 カニー泊旅行の案内」

～丸山ゆりこさん

一昨年が大変好評だったので、そのアンサー企画となりました。

参加者も20名を超えそうな勢いです。

・「情報交換」

今回は「支部間交流会」「金沢旅行」「台湾この指とまれ」の3グループに分かれ質疑応答等、活発に情報交換されていました。

②懇親会

17時からいつもの居酒屋「呑」に場所を移して懇親会を開催し大いに盛り上がりました。



懇親会風景

○関西トピックス

11月、12月は「金沢かにツアー」「関西・九州支部間交流会」「パソコン教室」「忘年会」の4つの企画が控えており役員一同大忙しです。

内容は次回報告します。 (以上)

九州支部便り

支部長 No.581 朝永 清寿

○栗拾い&ゴルフ&温泉を楽しむ会

今年で早くも5回目の開催となった、栗拾い・ゴルフ&温泉を楽しむ会を今年は例年より少し早めの10月1日～2日に開催しました。

前夜からの雨もあがった曇り空の下で日焼けも気にならない快適な日和でした。



またこの日は、栗の熟れ具合も最高で、すっかり完熟した大粒の栗をたくさん収穫することが出来ました。

作業の合間には中島会員から美味しいかき氷を振る舞ってもらいました。

また、畑でいただくお弁当も格別です、毎回作って頂いている守田さんの奥さんのデザートも美味しくて、この日だけはダイエット中の人も、贅沢は敵だという人もたくさんいただきました。



栗拾いの後は、隣町の温泉施設「佐俣の湯」へ。宿泊棟は3時チェックインでしたが早目に到着して、ゆっくりと温泉を楽しみました。

夜の演芸大会は、三原会員の元気いっばいの乾杯でスタート。

この夜はうれしいことが重なりました。小崎会員の？才のお誕生日、突然の大病でお休みされていた岡田会員の奥様が完全復帰、3年前の笑顔が戻ってきてみんな大喜びしました。

ゴルフは常連の守田会員がグランプリ、佐俣の湯初参加の春日井会員、荒木会員から挨拶をいただきました。



余興が盛り上がり、全員が捧腹絶倒で涙を流しながら見ていました。

今年はフォークダンスも取り入れてみました。オクラホマミクサー、踊っているうちに昔の勤が戻ってきて、終わる頃にはみなさんとも上手に踊っていました。違う異性に触れて、胸ドキドキ感もあったのかなかったのか…？スピーカーを持って行ってなかったので、音楽

の音が小さく、大声を張り上げて歌いながらだったので、のどが痛くなって、1回しか踊りませんでした。

この佐俣の湯サロン会は、腹の筋肉が大きく動き、心も潤うので、絶対健康にいいと思います。是非、来年はもっと多くの方の参加を期待します。

石段の町に泊まりましたので、翌日は3333段の日本一の石段のぼりに6人が挑戦しました。そのうち4人が完歩、残念ながら2人は次回のお楽しみとなりました。

11人の方は、甲佐町の河川敷でいつものグランドゴルフを楽しみました。



○阿蘇高原ゴルフサロン会



平成26年10月16日(木)～17日(金)、雲ひとつない真っ青な空、紅葉にはもう少し早い阿蘇の高原で、心地よい風を頬に受けながら、ゴルフサロン会を開催しました。

場所は阿蘇高森ゴルフ倶楽部、平均気温が熊本市内より5度から6度くらいは低いといわれる阿蘇高原、朝は身震いするほどの冷たさでしたが日中は程よい体感気温、すばらしい2日間でした。



ゴルフを楽しむことはもちろんですが、牛しゃぶを囲んでの食事を終えたあと、いよいよ本番のサロン会です。

次から次にとロングステイの話題が出てきて時の経つのも忘れて過ごしました。

あべちゃ～んのポケットの中には奇想天外な話題がいっぱいでした。

2日続けてのプレイも、皆さん疲れもしないで、たっぷり楽しみました。

今回は12名の参加でした。



マニラ支部便り

支部長 No.999 中山 恒夫

明けましておめでとうございます。

最近のマニラは、気候も良く南の国に暮らす幸せを感じます。特に11月から3月までは文字通りのベストシーズンです。

最近訪れられた会員の方が、「マニラは怖い所なので、トランジェットでホテルに泊まっても一歩も外に出ず、勿論食事もホテルです」と言っておられました。

今回自宅前の宿泊施設に泊まっていただき、

近くの観光地、レストラン等をご案内すると、「食事もおいしいし不安感もなくなってきた、また来るよ」とにこにこしながら、お帰りになりました。

私の住むカブヤオの正月の様子を少しお話します。大晦日昼頃より、花火の音が周りから鳴り響き、夜に入ると一段と激しくなります。カウントダウン30分前頃からは、フィリピン政府の自粛要請もなんのその、これでもかと言うように本格的打ち上げ花火や、ロケット花火を上げます。中には、周囲に負けまいと打ち上げている日本人若者の一団もいます。少し高い建物の上から見ると360度の壮大な花火を見ることができます。一夜明けた元旦は、前日の騒ぎが嘘のように静かな正月を迎えます。

マニラ近郊は歴史的意義のある場所、建物、観光地も多くありますので、是非一度のご来訪をお待ちしております。

会の発展を祈りつつ、新年の御挨拶に代えさせていただきます。

バギオ・パンガシナン支部便り

支部長 No.227 齋木 一

「新しい年2015年はバギオ・パンガシナンに取っては特別に記念すべき年です。

日本も終戦70周年ですが、バギオ・パンガシナンは激戦で多くの日本軍将兵が戦死した場所ですから特別な意味合いがあります。

2014年9月と10月には会の創立15周年記念として「バギオ英霊追悼碑」と「カバルアンの丘慰霊碑」で慰霊祭を行い、11月には巻き添えになって長年苦勞した日系人の子孫の奨学生250人を対象に「フィーディングプログラム」(炊き出し)も実施しました。

高原都市バギオは国際観光都市として、南国には数少ない避暑地として発展を続けています。人口も40万人近くに膨張しました。日本人も短期英語研修生を中心に増加しています。最近車も多くなってダウンタウンでは排気ガスも問題になりました。

リングエン湾を抱えるパンガシナンは、マニ

ラからの高速道路が州の入り口にまで達し、更にバギオ方面に向って延伸工事が続いています。主要幹線国道の拡幅工事もほぼ終了し、マニラからのアクセスも改善しています。

最近シニア技能ボランティアとして州内で活躍する日本人も20名を越えました。更に増加が見込まれます。町の近代化も進んで快適に暮らせるようになってきました。3年前からの度重なる円高は年金生活者のにとっては収入源になっていますが、マニラ等の都会に比べればまだ物価の安さを享受しています。

2015年、日本を取り巻く周辺国との関係も大きく変化しそうです。

その中で海を隔てた親日的な隣国「フィリピン」、日本で脚光を浴びそうな予感がします。

楽しみな一年になりそうです。

会員の皆様のご健康、祈念しています。

ダバオ支部便り

支部長 No.1261 藤本 晴久

新年明けましておめでとうございます。ダバオはこの時期が最も過ごしやすく会員の方の滞在も多くなります。早朝の散歩も非常にさわやかです。

こちらの生活を始めた頃散歩する人が棒きれを持っている事を友人に尋ねたところそれは野良犬を追い払うためだと聞きました。日本と違いフィリピンでは狂犬病が絶滅されておらず、その上可愛い犬や猫を見るとついつい餌をあげてしまうこちらの人たちの優しさもあり野犬、野良猫は非常に多くみられます。最近ダバオ市はその駆除に立ち上がり早朝職員の方が野良犬を捕獲する姿を時々みかけます。そのせいかわたしのアパートのまわりの野良犬が少なくなった様に思えます。狂犬病を発症すると死に至りますので犬や猫に噛まれたり引っかかれたら近くの総合病院またはアニマルバイトセンター(ABC Animal bite center)で注射を2回~3回打ちますと発病しません。費用は2280ペソ~50000ペソ(この差は何度聞いても解りません)とは言ってもこちらの人は狂犬病を恐れるどこ



アニマルバイトセンター

ろか暇な時に野良犬のノミを取ってあげる世話を
する姿を見たことがあるくらい可愛がって
います。くれぐれも旅行者の方は真似しないで下
さい。小さなトラブルを避けながら楽しい海外
生活をお楽しみください。

本年も何卒宜しくお願い申し上げます。

チェンマイ支部便り

支部長 No.239 伊藤 寛

新年明けましておめでとうございます。

今年は南国暮らしの会15周年、各支部多くの
記念行事が開催され、思い出を振り返り、今後
の運営や、会員個人ではこれからの人生を考え
る節目の年になる事と思います。

チェンマイ支部でも、15周年記念行事を開催
する予定であります。

チェンマイ支部は、ハイシーズンは多くの季
節滞在の会員の方が滞在されますが、当地に長
く住みたいと腰を据えて生活をされる会員の方
も増える一方で、長い期間の滞在に一区切りを
つけ、帰国を判断される方もいらっしゃいます。

初期のロングステイが何も確立していない
中、皆で情報交換し、飲食店情報を作り、食事
会を開催し、ゴルフの行き方の仕組みを作りコ
ンペを開催し、どの様に生活して行くかを作り
上げたりした多くの会員の方のお陰で、現在の
チェンマイ滞在が便利で快適なものに構築出来
たと感じ、南の会のこの15年の活動を改めて感
謝しています。

昨年は、会全体では掲示板の開設や、チェン
マイ支部においては、大きな組織変更、ゴルフ
の仕組みの変更、チェンマイ掲示板の活用が行
われました。情報交換の場として日本の各支ご
とに窓口を設け、全体では毎月開催から、年間
3回のサロン会の開催で、顔合わせの場とさせ
て頂いています。

チェンマイの街は大きく変化しつつありますが
が、会員の皆様にとって、チェンマイ滞在が、
退職後の人生のスローライフを豊かに実現出来
る場であって欲しいと願いつつ、新年のご挨拶
とさせていただきます。

クアラルンプール支部便り

支部長 No.1682 守田 章

会員の皆様、新年明けましておめでとうござ
います。新生クアラルンプール支部から初めて
の御挨拶を申し上げます。日本は寒さ真っ盛り
と思いましたが、ここ常夏のクアラルンプールにも
涼しい季節がやってまいりました。降雨が多く
なりゴルファーには厄介なことが増えますが、夜
ともなれば気温が下がり着るものに気をつけな
ければならないほど過ごし易い季節になります。

クアラルンプール支部は永い間支部長不在の
まま活動を休止していましたが、理事会からの
強いお勧めもあり2014年8月より活動を再開
いたしましたので、その概要をお知らせします。

支部長 守田 章 (No.1682)
副支部長 池田 諭 (No.1346)
副支部長 二瓶 ケイ子 (No.1188)
会計 池田 諭 (No.1346)

会員数8名(家族)の小所帯故に、会員相互
の気心が通じた支部となっています。

昨年度の活動内容は8月に設立総会及びサロ
ン会を開催。また9月には理事会監事、元クア
ラルンプール支部長をお迎えし支部会員との懇談
をいたしました。今年度も訪問会員への情報提
供、サロン会を中心に活動を行っていく予定です。

文末になりますが、今年の干支は未、方角で

例えば南南西で丁度日本から見て東南アジアの方角に相当します。この機会に是非一度マレーシアへお越しください。

ハワイ支部便り

支部長 No.1016 村林 修次

ALOHA

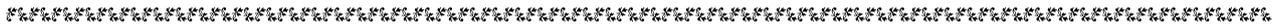
ハワイの秋はオフ・シーズンに入り観光客数も減少し、日本人の数も大変落ち込んでいます。「南の会」の会員さんも余り見えない時期です。

でもハワイでは毎年「ハワイ国際映画祭」(HIFF)が開催される時期(今年は10月30日～11月9日)なのです。今年は34回目を迎え、45カ国から178本もの映画が一举に上映されるのです。34年も続いている映画祭は地元ハワイの映画界にもいい影響を与え、メイド・イン・ハ

ワイの映画も数多く作られるようになりました。今年のオープニングを飾るのは日本映画の「バンクーバーの朝日」。日本では12月20日公開と言う事ですから日本より早く鑑賞出来るのもうれしいです。この映画は戦前カナダに実存した伝説の野球チームについてのドラマですが、差別や排斥運動など厳しい時代の中でも日系人としての誇りを失わずに生き抜いた若者たちの物語は、ハワイでも共感を呼ぶ作品として選出されたと思われます。

日本映画の上映は26本で、韓国8本、中国7本、台湾5本、インド・フィリピン各4本とアジア諸国の中では一番多くの作品が上映されます。私共もこの時期は連日、時には2本連続で鑑賞します。

映画の好きな「南の会」の会員の方 是非この時期に来て映画漬けになってみませんか？



南 国 写 真 サ ロ ン 別 館



KLのホーカー(セブ支部)



ショッピングセンター(チェンマイ支部)



ペナン支部



関東甲信越支部

部 会 伝 言 板

総 務 部 会

担当理事 No.996 歌田 晃一

◆平成26年度第1回理事会、平成26年6月14日(土)実施

1. 平成26年度事業計画の確認
2. 理事長、副理事長の理事会選任と役員業務分担
3. 委員会構成の検討
4. NPO法人認証15周年記念行事の検討
5. 南の会賛助会員の検討
6. 平成26年度スケジュールの確認
7. 支部長交代の承認
・関西支部長 No.173 平山三雄
8. その他

◆平成26年度第2回理事会、平成26年8月14日(木)実施

1. NPO法人認証15周年記念行事
 - ・会旗と横断幕について
 - ・各支部ごとの記念行事の提案内容の検討
 - ・会報における記念行事特集について
 - ・『ロングステイフェア(11/29)』への出展
2. 支部長変更とKL支部再結成の承認
 - ・クアラルンプール支部長
No.1682 守田 章
 - ・マニラ支部長 No.999 中山恒夫
 - ・ペナン支部長 No.1546 渡邊照夫
3. 経理業務合理化について検討
4. 賛助会員(個人)の申出と承認
5. その他

◆次回以降の理事会開催予定

11/13(土)、3/14(土)、4/11(土)、5/16(土)

会 報 部 会

担当理事 No.1309 青木 一義

明けましておめでとうございます。

新年早々、皆様のお手元に会報が届かれる事大変嬉しく思います。

さて昨年、一昨年と新しい会員が増え、南の会もますます盛況になって来ています。

新会員は長年の夢であったLSの情報や人脈を求めて入会してきます。

少しでも先に歩んでいらっしゃる先輩会員の経験や情報は大変貴重でありかつ刺激的な事であると思います。

後に続く新しい会員の為に皆様の体験や知り得た情報等を是非会報に載せて頂くようお願い致します。

又現在経験の無いあるいは少ない会報委員6名が手探りの状態で会報作りに取り組んでいます。

是非この仲間に加わってお手伝いを頂ける方がいらっしゃいましたらご連絡をください。

お待ちしております。

尚次回春号の担当は私 青木一義(No.1309)と瀧谷幸一(No.1208)

広 報 部 会

担当理事 No.513 青木 方子

本年も広報部会をよろしくお願い致します。

平成26年11月29日(土)一般財団法人ロングステイ財団主催「ロングステイフェア2014」が東京の国際展示場ビックサイトにおいて開催されました。

参加企業が各ブースにて、それぞれの趣向で来訪者にロングステイの意義をPRしている中に於いて、南国暮らしの会のブースでも、会の「主旨」を伝えるPRに努めたところ、多数の入会申込を頂きました。

広報活動の成果の一端が実を結んだと感じた一瞬でした。

広報部会活動報告

- 6月17日：フィリピン政府観光局・マレーシア政府観光局・タイ政府観光局・(一般財団法人)ロングステイ財団への表敬訪問
- 7月5日：北海道支部に於いての、「南国暮らしの会説明会」に広報部より支援要請で参加。
- 9月18日：タイ大使館「観光ビザについて・タイにおけるロングステイ 候補地の案内」の説明会参加。
「介護はフィリピンで…」朝日新聞に掲載その他メディアの取材等がありました。

ネット部会

担当理事 No.1578 山本 雅巳
明けておめでとうございます。

ネット部会では、会員の皆様の情報交換のツールとして「南国暮らしの会掲示板(BBS)」を運営しています。

今回は、「南国暮らしの会」のホームページから「南国暮らしの会掲示板(BBS)」に入室する方法について説明いたします。

1. 最初に、ヤフー、グーグル等のトップから検索欄(キーワードを入力)とあるところに**南国暮らしの会** と入力します。そして「検索」の表示をクリックする。
2. いくつかの、南国暮らしの会関連のキーワードが表示されます。
その中の、**南国暮らしの会** を選んでクリックします。
3. 南国暮らしの会のホームページが表示されます。
このページの左側上部にある「南国BBSへ」というボタン、又は、このページの左下「リンク」の **南国BBS(会員専用)** をクリックします。

4. 南国暮らしの会掲示板(南国BBS)のページが表示されます。
5. ここの閲覧パスワード入力の四角のスペースにパスワードを入力し入室します。その際、「パスワードを保存する」の前にある四角をクリックしてレ点を入力しておけば、次回からパスワードを入力しなくても入室できます。
6. パスワードについては、紙面ではお届けできないので下記メールアドレスに、**会員番号、お名前(フルネーム)**をお書きの上ネット委員会宛てご請求ください。

南国暮らしの会 ネット委員会メールアドレス
mail.iinkai@gmail.com

会員部会

担当理事 No.1108 山田 美弥子
あけましておめでとうございます。今年も部会担当一体となって会員の皆様のために会務を勤めてまいります。

1. 平成27年 継続会員手続きについて
平成27年度継続会員の登録手続きにつきましては、巻末の「平成27年度会費納入のご案内」を参照され継続会費の納入をよろしくおねがいします。
経理委員会から継続会費の納入が会員部会へ報告された時点で、新年度に向け継続会員手続きの準備を開始いたします。毎年多くの方が継続会費を納入され、「南の会」を楽しんでいらっしゃいます。時節ごとの会報や会員の情報交換の場「サロン会」、BBS等を活用して楽しい豊かなときを過ごしましょう！
2. 住所・電話番号・メールアドレスの変更手続きについて
引越し等による住所・電話番号の変更、またメールアドレスを変更された場合は必ず会員部会(kaiin.bukai@gmail.com)へ会員番号と一緒にご連絡をお願いします。変更届がないと、大事な情報源である会報・サロン会の案内等が届きません。ご協力よろしくおねがいします。

支部推進部会

担当理事 No.1244 金井 修二
新年明けましておめでとうございます。

支部推進部会のメンバーは年6ヶ月チェンマイ、1ヶ月北海道生活を数年続けている関東甲信越支部の金井修二とダバオ、チェンマイ、台湾など東南アジアを中心にLSされているNo.816の関西支部のベテラン有元義晶氏とチェ

ンマイ、ダバオを主にLSを始めたNo.1612の関東甲信越支部の堀江健夫氏の3名で国内国外15支部の窓口として担当していますので各支部でのご相談・問い合わせなどお寄せください。

スカイプ・メールでお願い致します。

年明けますと少し早いですが26年度の支部活動報告と新年度活動方針の報告、国内支部に関しては収支報告書の提出など忙しくなりますので準備よろしくお願ひ致します。

友好団体紹介コーナー

★一般財団法人ロングステイ財団

<http://www.longstay.or.jp>

★チェンマイロングステイライフの会 (CLLクラブ)

<http://cll.thaijp.net/>

★ワールドステイクラブ (WSC)

<http://homepage3.nifty.com/worldstayclub/>

★THE JAPAN CLUB OF KUALA LUMPUR KL

(クアラルンプール) 日本人会

<http://www.jckl.org.my/>

★北ルソン日本人会 (JANL)

<http://janl.exblog.jp>



南 国 暮 ら し の 会 支 部 一 覧

2015年1月現在

支部名	会員番号	支部長名	e-mail アドレス
北海道支部	1285	桂 裕章	hiro-katz1743@nifty.com
東北支部	498	氏家 孝	takashiujiie3322@yahoo.co.jp
関東甲信越支部	1118	肥後 憲尚	higoyoshi@hotmail.co.jp
東海支部	843	土井 研一	doi@rr.ij4u.or.jp
関西支部	173	平山 三雄	hira629@yahoo.co.jp
九州支部	581	朝永 清寿	ktomo581@yahoo.co.jp
チェンマイ支部	239	伊藤 寛	kan_itoh_9@hotmail.com
バンコク支部	-		
ペナン支部	1546	渡邊 照夫	ftxqj863@ybb.ne.jp
クアラルンプール支部	1682	守田 章	akirmori@hotmail.co.jp
マニラ支部	999	中山 恒夫	kazuyo.nkym@gmail.com
セブ支部	1124	田上 篤	3159atsushi@gmail.com
バギオ・パンガシナン支部	227	斎木 一	saikihajime@hotmail.com
ダバオ支部	1261	藤本 晴久	katorudawann@yahoo.co.jp
ハワイ支部	1016	村林 修次	mura-sakytakyj@d4.dion.ne.jp
ゴールドコースト支部	※ 586	磯崎 興志	iso4549@sirius.ocn.ne.jp

※は支部長代行

編 集 後 記

あけましておめでとうございます。
本年も会報部会をよろしくお願い致します。

今回もたくさんの会員の方々のご協力を頂き、「新年号」を発行する事ができましたこと
をお礼申し上げます。

「新年号」では、初めての空港での不安を伴う乗り継ぎについては解りやすく、また、各国の空港が待ち時間を有効に活用できる空港へと工夫しておりますので、乗り継ぎ時間内で体験できるお得な空港主催のツアー等のご案内を合わせてお伝え致します。

今号はNPO設立15周年にあたり、政府観光局等から祝辞を頂きました。

16年に向けて、今後ますます充実した会報誌を会員の方のお手元に届けられますように、創意工夫でより充実した紙面作りを目指します。

会報誌は会員の皆様の「お声」と共に歩めると思っております。

更なる会報誌の充実に向けて、今後とも会員の皆様のご意見をお待ちしております。

「新年号」編集担当

No.513 青木 方子、No.1578 山本 雅巳

平成27年度会費納入のご案内

平成27年度の継続会費納入をご案内します。

継続年会費：5,000円 **納入期限：平成27年3月31日(火)**

- 本会の27年度は平成27年4月1日より1年間です。会則により、会費は年度会費制で途中入会者に対する月割り計算はいたしておりません。26年度に新規加入の方も、加入時期にかかわらず27年度会費を全額納入してください。
- 同封の郵便振替用紙を使ってお振り込み下さい。振込料金は各自ご負担願います。
郵便振替口座番号：0-0170-7-24682
加入者名：「南の会」
(お願い) 郵便振替の払込取扱票の「ご依頼人」欄に郵便番号、住所、氏名、電話番号を**楷書**で明確にご記入下さい。また、**通信欄に会員番号**も忘れずに記入して下さい。
- 海外居住者等で郵便振替の利用が困難な方は**ゆうちょ銀行**口座への振込をお願いします。
ゆうちょ銀行 金融機関コード：9900
店番：019 店名：〇一九店(ゼロイチキュー店)
預金種目：当座 (「普通」ではありませんのでご注意願います。)
口座番号：0024682
受取人名(カナ氏名)：ミナミノカイ
(振込支店名の検索は、画面「あいうえお」一覧の「ゼ」または「セ」から〇一九店を選んでください。振込画面は銀行により異なることがあります。)
(お願い) 銀行振込に際しては、振込人氏名の先頭に**会員番号を追加記入**してください。
- 会費納入と会員資格、総会表決権の取扱について
 - ・上記の納入期限内に継続会費を納入された方は、27年度会員として総会表決権を有します。
 - ・期日までに会費未納入の方へは、一度納入を督促致します。さらに5月15日までに納入されない場合は退会として扱い、会員名簿から削除致しますのでご注意願います(細則9条(5)項)。また、会報も送付しません。
 - ・9月30日までに会費を納入しますと会員資格が復活します(入会金は不要)。10月1日以降の納入は新規入会の扱いとなりますので、入会金と会費を納めていただきます。
 - ・新規会員で会費を27年度として納入された方は、4月1日からの会員資格となりますので、27年度総会での表決権はありません。
- やむを得ず会費納入が遅れる方へ
海外滞在中などで期日までに振込が困難な方は、下記アドレスへ件名を「会費納入遅延」としてご連絡ください。 **keiri.iinkai@gmail.com**
納入遅延の連絡を条件に特例として会報春季号をお送りします。連絡が無い場合は会員名簿からの削除を行います。
ただし、総会議決権については規定通り失効といたします。
- 例年二重に振り込まれる方がいらっしゃいますので振込記録を残されることをお勧めします。なお二重に振り込んでも定款の定めにより返金できませんので、前納会費として翌々年度に充当させていただきます。よろしくご了承ください。

「南国暮らしの会」から `自己責任の徹底!`

南国暮らしの会は南国暮らしの情報提供・交換・親睦の場です。これらを基にした集会・行事・旅行、或いは不動産の購入などについて、個々人の自己責任であることを肝に銘じて判断し行動してください。すべての判断・決定は自己責任です！

(参照：「南国暮らしの会」細則第10条【自己責任の原則】)

【連絡先一覧】

- (1) メールアドレスの変更 mail.iinkai@gmail.com
 - (2) 会員関係 (住所変更など) kaiin.bukai@gmail.com
 - (3) 経理関係 (会費、名刺ロゴマークなど) keiri.iinkai@gmail.com
 - (4) その他一般 home@minaminokai.com
- (メールには用件の他に会員番号、氏名、ご自分のメールアドレスを明記して下さい。)

[編集委員]

No.1309	青木 一義	No.1108	山田美弥子
No. 513	青木 方子	No.1208	澁谷 幸一
No.1578	山本 雅巳	No.1581	黒川 敏彦

記事の無断転載・複製を禁じます。

発行者 特定非営利活動法人 (NPO法人)

「南国暮らしの会」

©minaminokai

理事長 大野 悦子

<http://www.minaminokai.com/>

E-mail: info@minaminokai.com



投稿写真コーナー



セブ支部



チェンマイ支部



ペナン支部



北海道支部



関東甲信越支部



九州支部